

款	10	教育費	予 算 現 額	2,096,000 円
項	1	教育総務費	決 算 額	2,028,696 円
目	1	教育委員会費	前 年 度 決 算 額	2,068,077 円
			対 前 年 比	98.1 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	教育委員会運営事業	コード	01	10	01	01	01	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民、小中学校の児童生徒及びその保護者
2 働きかける相手(対象)	教育委員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が義務付けられており、教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会です。この教育委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	教育委員会運営事業 教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。			
	(1) 定例会 12回(月1回)開催しました。 ア 議事 0件 イ 議案 52件 (ア) 人事関係 20件 (イ) 予算関係 4件 (ウ) 条例、規則等 11件 (エ) 後援名義使用許可 6件 (オ) 表彰、褒賞等 5件 (カ) 認定 0件 (キ) その他 6件 (2) 臨時会 2回(4月、7月)開催しました。 ア 議事 1件 イ 議案 2件 (3) 総合教育会議 2回(7月、2月)開催しました。			

5 活動指標	指 標 名	教育委員会開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 13.00	回	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	定例会開催回数＋臨時会開催回数	平成 26 年度	回 13.00	回	
			平成 27 年度	回 15.00	回	
			平成 28 年度	回 14.00	回	
6 直接事業費計	前年度決算額		2,068,077 円	決 算 額		2,028,696 円

款	10	教育費	予 算 現 額	98,183,999 円
項	1	教育総務費	決 算 額	97,603,965 円
目	2	事務局費	前 年 度 決 算 額	93,260,128 円
			対 前 年 比	104.7 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	教育振興一般管理事業	コード	01	10	01	02	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	児童、生徒、保護者
2 働きかける相手(対象)	教育機関、教職員
3 どのような状態に したいのか(意図)	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	教育振興一般管理事業			
	(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。 (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。 (3) 小学校の状況（平成28年5月1日現在） ア 東郷小学校 児童数 496人、学級数 19学級、教職員数 33人 イ 春木台小学校 児童数 392人、学級数 15学級、教職員数 27人 ウ 諸輪小学校 児童数 434人、学級数 16学級、教職員数 30人 エ 音貝小学校 児童数 461人、学級数 18学級、教職員数 31人 オ 高嶺小学校 児童数 543人、学級数 21学級、教職員数 35人 カ 兵庫小学校 児童数 633人、学級数 21学級、教職員数 37人 計 児童数 2,959人、学級数 110学級、教職員数 193人 (4) 中学校の状況（平成28年5月1日現在） ア 東郷中学校 生徒数 460人、学級数15学級、教職員数 36人 イ 春木中学校 生徒数 746人、学級数25学級、教職員数 53人 ウ 諸輪中学校 生徒数 233人、学級数9学級、教職員数 26人 計 生徒数 1,439人、学級数49学級、教職員数 115人 (5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。			

5 活動指標	指 標 名	義務教育諸学校就学率	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	% 100.00	%	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	義務教育諸学校就学者数／学齢 児童生徒数	平成 26 年度	% 100.00	%	
			平成 27 年度	% 100.00	%	
			平成 28 年度	% 100.00	%	
6 直接事業費計		前年度決算額	17,884,698 円	決 算 額	21,188,220 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	適応指導事業	コード	01	10	01	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(2) こころとからだの健康教育							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	不登校（長期欠席）児童生徒
2 働きかける相手(対象)	不登校児童生徒及びその保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	適応指導事業 (1) 「ハートフル東郷」を開設しました。 ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。 (7) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。 (4) 基本的生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。 (9) 対人関係の広がり支援し、集団への適応力を育成しました。 (1) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。 イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日） ウ 通室者数 7人〔町内小中学校不登校児童生徒数65人（H28年度不登校児童生徒状況調査）〕 (2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	1人当たりの登校及び通室延べ日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	日 65.00	日	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	通室者 1 人当たりの登校日数及び、通室延べ日数	平成 26 年度	日 43.00	日	
			平成 27 年度	日 37.00	日	
			平成 28 年度	日 88.00	日	
6 成果指標	指 標 名	学校復帰者	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 0.00	人 2.00	通室者の 5 割
	指標の説明 (指 標 式)	通室者のうち学校への復帰者	平成 26 年度	人 3.00	人 5.00	
			平成 27 年度	人 0.00	人 5.00	
			平成 28 年度	人 5.00	人 4.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	5,332,459 円	決 算 額	5,279,662 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	生徒指導事業	コード	01	10	01	02	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(2) こころとからだの健康教育							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		全小中学生				
2 働きかける相手(対象)		町内小中学校の児童生徒及び保護者、各学校区生徒指導推進協議会、地域				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	生徒指導事業 (1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。 (2) スクールカウンセラー ア 小学校 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。 児童等相談件数 183件 年間相談時間 416時間(208×2) イ 中学校 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。 生徒等相談件数 597件 年間相談時間 624時間(208×3) (3) 心の教室相談員 3中学校に計4名(東郷中学校1名、春木中学校1名、諸輪中学校2名)の心の教室相談員を配置し、生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 生徒等相談件数 612件 勤務時間数 東郷中学校 364時間 春木中学校 372時間 諸輪中学校 433時間					
5 活動指標	指標名	スクールカウンセラー及び心の教室相談員配置人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 10.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 9.00	人	
			平成 27 年度	人 10.00	人	
			平成 28 年度	人 9.00	人	
6 成果指標	指標名	相談件数(スクールカウンセラー及び心の教室相談員)	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 過去3年間の平均相談件数
			平成 25 年度	件 1,323.00	件 1,057.00	
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	件 835.00	件 1,190.00	
			平成 27 年度	件 657.00	件 1,115.00	
			平成 28 年度	件 1,392.00	件 938.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	1,773,000 円	決 算 額		1,739,000 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	高等学校等教育振興事業	コード	01	10	01	02	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒
2 働きかける相手(対象)	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒の保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	高等学校等教育振興事業 生徒が平成28年10月1日現在私立高等学校等に在籍しており、10月1日現在町内に在住している保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円（実際の授業料支払額が10,000円未満の場合は、その額まで）を補助しました。 (1) 補助実施生徒数 365人 (2) 在籍学校数 66校 <参考> 平成24年度から補助事業を再開し、継続実施中です。					
-------------------------	---	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	私立高等学校等授業料補助金交付者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 303.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	人 323.00	人	
			平成 27 年度	人 356.00	人	
			平成 28 年度	人 365.00	人	
6 成果指標		指 標 名	申請率	年 度	実 績 値	目 標 値
			平成 25 年度	% 81.45	% 70.00	対象者の 7 割
	指標の説明 (指 標 式)	申請者／対象者	平成 26 年度	% 79.17	% 70.00	
			平成 27 年度	% 84.56	% 70.00	
			平成 28 年度	% 80.57	% 70.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	3,565,160 円	決 算 額		3,650,000 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	学童教育推進事業	コード	01	10	01	02	06	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(4) 放課後児童対策の実施							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町内小中学校の児童生徒				
2 働きかける相手(対象)		町内小中学校の児童生徒、教職員、教育機関、施設サービス株式会社				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		学童期からの運動促進、運動好きな子どもを育み基礎体力の向上を図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	学童教育推進事業 産官学で連携し、研修会や講習会を実施しました。 (産：施設サービス株式会社、官：東郷町教育委員会、学：順天堂大学)					
	(1) 順天堂大学の加納名誉教授を招き、教職員向け研修会を開催しました。 日時：平成28年8月4日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで 場所：東郷町総合体育館 アリーナ 参加者：60人 (2) ロープパフォーマーのSADAさん等を招き、高嶺小学校の児童向けに講習会を開催しました。 日時：平成28年10月3日(月) 午前9時35分から午前11時30分まで 場所：東郷町立高嶺小学校体育館 参加者：536人					
5 活動指標	指標名	研修会等実施講師数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 0.00	人	
			平成 27 年度	人 0.00	人	
			平成 28 年度	人 4.00	人	
6 成果指標			指標名	研修会等開催回数	年 度	実 績 値
			平成 25 年度	回 0.00	回 0.00	
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	回 0.00	回 0.00	
			平成 27 年度	回 0.00	回 0.00	
			平成 28 年度	回 2.00	回 2.00	
7 直接事業費計			前年度決算額	0 円	決 算 額	

款	10	教育費	予 算 現 額	333,174,000 円
項	2	小学校費	決 算 額	324,054,160 円
目	1	学校管理費	前 年 度 決 算 額	299,589,342 円
			対 前 年 比	108.2 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	小学校保健事業	コード	01	10	02	01	01	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(2) こころとからだの健康教育							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町立小学校児童、教職員
2 働きかける相手(対象)	町立小学校児童、教職員、医療関係者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 小学校保健一般事業 (1) 児童健診(対象者数：2,959人) 尿(2回)、心電図(1・4年生)、胸部X線(結核精密検査該当者) (2) 教職員健診(受診者数：184人) 胃(35歳以上)、尿、胸部X線(結核)、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底(35歳以上)
	2 小学校学校医等設置事業 (1) 学校医 内科検診(児童、教職員)と就学時健診 眼科分(2・3・5・6年生)と就学時健診 (2) 歯科医 歯科検診(児童)と就学時健診 (3) 耳鼻科医 耳鼻科検診(1・4年生) (4) 眼科医 眼科検診(1・4年生) (5) 薬剤師 水質検査、環境測定

5 活動指標	指 標 名	健康診断受診者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 3,163.00	人	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	健康診断を受診した児童・教職員数	平成 26 年度	人 3,143.00	人	
			平成 27 年度	人 3,144.00	人	
			平成 28 年度	人 3,143.00	人	
6 直接事業費計		前年度決算額	18,247,272 円	決 算 額	18,296,420 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	小学校維持管理事業	コード	01	10	02	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	小学校で学ぶ児童、教諭及び施設利用者					
2	働きかける相手(対象)	小学校施設・設備					
3	どのような状態にしたいのか(意図)	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校維持管理事業					
		(1) 小学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 小学校施設の維持管理、機械設備の保守点検(全18件)を実施しました。 (7) 学校施設警備業務 (4) 自家用電気工作物保守点検業務 (ウ) 昇降機保守点検業務 (エ) 消防用設備等保守点検業務 (オ) 浄化槽保守点検業務 (カ) ごみ収集運搬業務 (キ) 濾過装置保守点検業務 (ク) 学校植栽維持管理業務 (ケ) 学校施設清掃業務 (コ) 兵庫小学校維持管理業務 (サ) ガス空調機保守点検業務 始め8件 イ 小学校に臨時職員を配置しました。 (7) 学校用務員 6人 (イ) 学校給食配膳員 6人 (ウ) 非常勤講師 6人 (エ) 学級運営改善対応員 10人 (オ) 学校生活介助員 13人 (カ) 学校図書館司書教諭補助員 6人 (2) 小学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。 ア トイレ改修工事(東郷小学校西・南校舎) イ トイレ改修工事監理業務(東郷小学校西・南校舎) ウ 校舎大規模改造工事設計業務(音貝小学校南校舎) エ 校門改修工事設計業務(音貝小学校) オ トイレ改修工事設計業務(春木台小学校北校舎、諸輪小学校北校舎) カ 昇降機改修工事設計業務(諸輪小学校) キ プール濾過装置修繕工事 始め17件					
5	活動指標	指標名	保守点検等の委託業務数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成 25 年度	件 20.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	小学校施設の維持管理等の委託業務数	平成 26 年度	件 19.00	件	
				平成 27 年度	件 16.00	件	
				平成 28 年度	件 18.00	件	
6	直接事業費計	前年度決算額	207,705,036 円	決 算 額	232,050,431 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	兵庫小学校建設事業	コード	01	10	02	01	02	99
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る 施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	兵庫小学校学区の児童			
2 働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)			
3 どのような状態に したいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	兵庫小学校施設整備事業		
	工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成 年度～平成 年度	平成 年度～平成 年度
	全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。		
	評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入		
	予定全体事業量 [A]	10,877.00㎡		
	評価年度までの 事業量 [Σa]	10,877.00㎡		
	事業量の進捗率 [Σa/A]	100%	%	%
	予定全体直接事業費 [B]	2,425,887,286 円	円	円
	評価年度までの 直接事業費 [Σb]	2,056,238,271 円	円	円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	84.8%	%	%
	評価年度の事業量 [a]	0.00㎡		
	評価年度の 直接事業費 [b]	73,707,309 円	円	円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	0 円	円	円
5 直接事業費計	前年度決算額	73,637,034 円	決算額	73,707,309 円

款	10	教育費	予 算 現 額	68,556,000 円
項	2	小学校費	決 算 額	66,789,216 円
目	2	教育振興費	前 年 度 決 算 額	75,914,043 円
			対 前 年 比	88 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	小学校運営事業	コード	01	10	02	02	01	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町立小学校の児童
2 働きかける相手(対象)	町立小学校の児童、教職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	小学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校一般運営事業 (1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を25名委嘱し、学校評議員会を年間延べ15回開催し、延べ59人が出席しました。 (3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで全小学校に配置しました。 (4) 小学校の状況(平成28年5月1日現在) <table border="1"> <tr> <td>ア 東郷小学校</td><td>児童数</td><td>496人、学級数</td><td>19学級、教職員数</td><td>33人</td></tr> <tr> <td>イ 春木台小学校</td><td>児童数</td><td>392人、学級数</td><td>15学級、教職員数</td><td>27人</td></tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校</td><td>児童数</td><td>434人、学級数</td><td>16学級、教職員数</td><td>30人</td></tr> <tr> <td>エ 音貝小学校</td><td>児童数</td><td>461人、学級数</td><td>18学級、教職員数</td><td>31人</td></tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校</td><td>児童数</td><td>543人、学級数</td><td>21学級、教職員数</td><td>35人</td></tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校</td><td>児童数</td><td>633人、学級数</td><td>21学級、教職員数</td><td>37人</td></tr> <tr> <td>計</td><td>児童数</td><td>2,959人、学級数</td><td>110学級、教職員数</td><td>193人</td></tr> </table>				ア 東郷小学校	児童数	496人、学級数	19学級、教職員数	33人	イ 春木台小学校	児童数	392人、学級数	15学級、教職員数	27人	ウ 諸輪小学校	児童数	434人、学級数	16学級、教職員数	30人	エ 音貝小学校	児童数	461人、学級数	18学級、教職員数	31人	オ 高嶺小学校	児童数	543人、学級数	21学級、教職員数	35人	カ 兵庫小学校	児童数	633人、学級数	21学級、教職員数	37人	計	児童数	2,959人、学級数	110学級、教職員数	193人
ア 東郷小学校	児童数	496人、学級数	19学級、教職員数	33人																																			
イ 春木台小学校	児童数	392人、学級数	15学級、教職員数	27人																																			
ウ 諸輪小学校	児童数	434人、学級数	16学級、教職員数	30人																																			
エ 音貝小学校	児童数	461人、学級数	18学級、教職員数	31人																																			
オ 高嶺小学校	児童数	543人、学級数	21学級、教職員数	35人																																			
カ 兵庫小学校	児童数	633人、学級数	21学級、教職員数	37人																																			
計	児童数	2,959人、学級数	110学級、教職員数	193人																																			

5 活動指標	指 標 名	児童数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 2,987.00	人	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	毎年5月1日 現在	平成 26 年度	人 2,968.00	人	
			平成 27 年度	人 2,964.00	人	
			平成 28 年度	人 2,959.00	人	
6 直接事業費計		前年度決算額	42,557,360 円	決 算 額	34,626,115 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	小学校図書館整備事業	コード	01	10	02	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町立小学校児童
2 働きかける相手(対象)	町立小学校、町立小学校児童
3 どのような状態に したいのか(意図)	各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校図書館整備事業 学校図書館の図書の整備を図りました。 (1) 蔵書状況					
		購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
	東郷小学校	108冊	40冊	10,678冊	10,560冊	101%
	春木台小学校	154冊	138冊	10,690冊	9,160冊	117%
	諸輪小学校	198冊	0冊	9,210冊	9,560冊	96%
	音貝小学校	582冊	350冊	9,959冊	10,360冊	96%
	高嶺小学校	188冊	769冊	11,204冊	10,960冊	102%
	兵庫小学校	239冊	0冊	11,719冊	10,960冊	107%
	計	1,469冊	1,297冊	63,460冊	61,560冊	
	(2) 年間貸出冊数					
	東郷小学校	6,200冊				
	春木台小学校	3,063冊				
	諸輪小学校	12,395冊				
	音貝小学校	5,496冊				
	高嶺小学校	9,222冊				
	兵庫小学校	17,630冊				
	計	54,006冊				

5 活動指標	指 標 名	購入後蔵書数（全小学校分）	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	前年度末蔵書数+当該年度整備冊数－廃棄数	平成 25 年度	冊 62,594.00	冊 61,360.00	学校図書館図書標準 （公立義務教育諸学校の 学校図書館に整備す べき蔵書の標準冊数）
			平成 26 年度	冊 62,927.00	冊 61,160.00	
			平成 27 年度	冊 63,205.00	冊 61,160.00	
			平成 28 年度	冊 63,460.00	冊 61,560.00	
6 成果指標	指 標 名	児童 1 人当たり年間貸出冊数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 25 年度	冊 15.92	冊 16.24	過去 3 年間の最大値
			平成 26 年度	冊 17.82	冊 16.24	
			平成 27 年度	冊 17.22	冊 17.82	
			平成 28 年度	冊 18.25	冊 17.82	
7 直接事業費計	前年度決算額	4,548,317 円	決 算 額		2,055,040 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	小学校特別支援教育奨励事業	コード	01	10	02	02	03	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	障がいのある児童の保護者				
2	働きかける相手(対象)	障がいのある児童の保護者				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校特別支援教育奨励事業 特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。 (1) 支給人数 39人 (2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 167,228円 イ 学校給食費 774,640円 ウ 新入学用品費 40,940円 エ 校外活動費 28,234円 オ 修学旅行費 65,391円				
5	活動指標	指標名	支給人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成 25 年度	人 32.00	個別計画による目標値はありません。
				平成 26 年度	人 33.00	
		指標の説明 (指 標 式)		平成 27 年度	人 39.00	
				平成 28 年度	人 39.00	
6	直接事業費計	前年度決算額	1,194,476 円		決 算 額	1,076,433 円

I. 事業の目的体系

1. 事業名	小学校就学援助事業	コード	01	10	02	02	04	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	経済的な事情により、就学困難な町立小学校児童
2 働きかける相手(対象)	町立小学校児童の保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	経済的な事情により就学困難な児童の保護者を援助することにより、すべての児童が安心して義務教育を受けることができますようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校就学援助事業

町立小学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。

(1) 支給人員

137人

(2) 支給費目

学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費

(3) 費目別支給金額

ア	学用品費	1,443,980円
イ	通学用品費	282,620円
ウ	学校給食費	5,287,700円
エ	新入学用品費	286,580円
オ	校外活動費	436,973円
カ	修学旅行費	378,466円
キ	PTA会費	200,240円

5 活動指標	指 標 名	支給人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 103.00	人	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	平成 26 年度	人 96.00	人		
		平成 27 年度	人 114.00	人		
		平成 28 年度	人 137.00	人		
6 直接事業費計	前年度決算額	6,902,301 円	決 算 額		8,316,559 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	小学校情報教育推進事業	コード	01	10	02	02	05	-
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る 施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町立小学校児童				
2 働きかける相手(対象)		町立小学校児童、町立小学校施設				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		全小学校のコンピュータ教室の児童用コンピュータを効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		小学校情報教育推進事業 全小学校のコンピュータ教室に設置してある情報機器240台（6校×40台）を利用し、情報教育を推進できる環境を整備しました。 (1) コンピュータ教室機器の賃貸借（1校当たりの台数） ア 児童用機器 40台、教師用機器 1台 イ カラープリンタ 2台 ウ プロジェクタ 1台 エ デジタルカメラ 10台 オ スキャナ 1台 カ 電子黒板 1台 (2) 安全に情報へアクセスできる環境 児童がインターネットなどで安全に情報を取得できる環境を整備しました。 ア インターネットプロバイダへの接続 6校 イ ルータによる外部からの侵入の防御 6校 ウ インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限 6校 エ ウイルス対策ソフトウェアの導入 6校 (3) 情報コンテンツの利用による授業展開 コンピュータグラフィックなどにより分かりやすく表現した情報コンテンツ等を利用して授業を行い、理解度を深めました。 利用コンテンツ数 65個				
5 活動指標	指標名	各学校に設置したコンピュータの台数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	台 240.00	台 829.00	文部科学省の整備基準 （児童3.6人に対しコンピュータ1台）
	指標の説明 （指標式）		平成 26 年度	台 240.00	台 824.00	
			平成 27 年度	台 240.00	台 823.00	
			平成 28 年度	台 240.00	台 822.00	
6 成果指標		指標名	コンピュータ教室のコンピュータ設置台数	年 度	実 績 値	目 標 値
			平成 25 年度	台 240.00	台 240.00	40台（1学級最大児童数対応台数）×6校
	指標の説明 （指標式）		平成 26 年度	台 240.00	台 240.00	
			平成 27 年度	台 240.00	台 240.00	
			平成 28 年度	台 240.00	台 240.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	20,711,589 円	決 算 額		20,715,069 円

款	10	教育費	予 算 現 額	98,887,000 円
項	3	中学校費	決 算 額	92,477,335 円
目	1	学校管理費	前 年 度 決 算 額	577,176,844 円
			対 前 年 比	16 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	中学校保健事業	コード	01	10	03	01	01	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(2) こころとからだの健康教育							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町立中学校生徒、教職員
2 働きかける相手(対象)	町立中学校生徒、教職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 中学校保健一般事業 (1) 生徒健診(対象者数: 1,439人) 尿(2回)、心電図(1年生)、血液検査(2年生)、胸部X線(結核精密検査該当者) (2) 教職員健診(受診者数: 106人) 胃(35歳以上)、尿、胸部X線(結核)、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底(35歳以上) (3) 産業医の委託(春木中1名)
	2 中学校学校医等設置事業 (1) 学校医 内科検診(生徒、教職員) 眼科分(2・3年生) (2) 歯科医 歯科検診(生徒) (3) 耳鼻科医 耳鼻科検診(1年生) (4) 眼科医 眼科検診(1年生) (5) 薬剤師 水質検査、環境測定

5 活動指標	指 標 名	健康診断受診者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 1,593.00	人	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	健康診断を受診した生徒・教職員数	平成 26 年度	人 1,619.00	人	
			平成 27 年度	人 1,580.00	人	
			平成 28 年度	人 1,545.00	人	
6 直接事業費計	前年度決算額		9,581,622 円	決 算 額		9,581,356 円

I. 事業の目的体系

1. 事業名	中学校維持管理事業	コード	01	10	03	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	中学校で学ぶ生徒、教諭及び施設利用者
2 働きかける相手(対象)	中学校施設・設備
3 どのような状態に したいのか(意図)	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校維持管理事業 (1) 中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検(全16件)を実施しました。 (7) 学校施設警備業務 (イ) 自家用電気工作物保守点検業務 (ウ) 昇降機保守点検業務 (エ) 消防用設備等保守点検業務 (オ) 浄化槽保守点検業務 (カ) ごみ収集運搬業務 (キ) 濾過装置保守点検業務 (ク) 学校植栽維持管理業務 (ケ) 学校施設清掃業務 (コ) 遊具体育用具保守点検業務 始め7件 イ 中学校に臨時職員を配置しました。 (7) 学校用務員 3人 (イ) 学校給食配膳員 3人 (ウ) 非常勤講師 7人 (エ) 学級運営改善対応員 2人 (オ) 学校生活介助員 4人 (カ) 学校図書館司書教諭補助員 3人 (2) 中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。 ア 音楽室空調設備整備工事設計業務(春木中学校) イ 音楽室空調設備整備工事監理業務(春木中学校) ウ 音楽室空調設備整備工事(春木中学校) エ プール濾過装置修繕工事 始め12件			

5 活動指標	指 標 名	保守点検等の委託業務数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	件 14.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	中学校施設の維持管理等の委託業務数	平成 26 年度	件 13.00	件	
			平成 27 年度	件 14.00	件	
			平成 28 年度	件 16.00	件	
6 直接事業費計	前年度決算額		567,595,222 円	決 算 額	82,895,979 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	54,420,736 円
項	3	中学校費	決 算 額	51,208,189 円
目	2	教育振興費	前 年 度 決 算 額	61,449,148 円
			対 前 年 比	83.3 %

I. 事業の目的体系

1. 事 業 名	中学校運営事業	コード	01	10	03	02	01	-
2. 総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標 : 目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基 本 施 策 : 1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向: -							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町立中学校の生徒
2 働きかける相手(対象)	町立中学校の生徒、教職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町立中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校一般運営事業 (1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、外部講師の謝礼、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を13名委嘱し、学校評議委員会を年間延べ6回開催し、延べ23人が出席しました。 (3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで全中学校に配置しました。 (4) 中学校の状況(平成28年5月1日現在) ア 東郷中学校 生徒数 460人、学級数 15学級、教職員数 36人 イ 春木中学校 生徒数 746人、学級数 25学級、教職員数 53人 ウ 諸輪中学校 生徒数 233人、学級数 9学級、教職員数 26人 計 生徒数 1,439人、学級数 49学級、教職員数 115人				

5 活動指標	指 標 名	生徒数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 1,487.00	人	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	毎年5月1日 現在	平成 26 年度	人 1,514.00	人	
			平成 27 年度	人 1,478.00	人	
			平成 28 年度	人 1,439.00	人	
6 直接事業費計	前年度決算額		40,232,215 円	決 算 額	29,961,818 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	中学校図書館整備事業	コード	01	10	03	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町立中学校生徒				
2 働きかける相手(対象)		町立中学校、町立中学校生徒				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、生徒の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校図書館整備事業 学校図書館の図書の整備を図りました。					
	(1) 蔵書状況					
		購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
	東郷中学校	193冊	0冊	14,426冊	12,160冊	119%
	春木中学校	1,142冊	0冊	15,383冊	15,840冊	97%
	諸輪中学校	515冊	253冊	9,139冊	9,040冊	101%
	計	1,850冊	253冊	38,948冊	37,040冊	
	(2) 年間貸出冊数					
	東郷中学校	1,068冊				
	春木中学校	1,878冊				
	諸輪中学校	520冊				
	計	3,466冊				
5 活動指標	指標名	購入後蔵書数（全中学校分）	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	冊 35,384.00	冊 36,720.00	学校図書館図書標準 （公立義務教育諸学校の 学校図書館に整備す べき蔵書の標準冊数）
	指標の説明 （指標式）	前年度末蔵書数＋当該年度整備 冊数－廃棄数	平成 26 年度	冊 36,095.00	冊 36,560.00	
			平成 27 年度	冊 37,351.00	冊 36,720.00	
			平成 28 年度	冊 38,948.00	冊 37,040.00	
6 成果指標	指標名	生徒 1 人当たり年間貸出冊数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	冊 2.59	冊 3.10	過去 3 年間の最大値
	指標の説明 （指標式）		平成 26 年度	冊 2.67	冊 3.10	
			平成 27 年度	冊 2.30	冊 2.67	
			平成 28 年度	冊 2.40	冊 2.67	
7 直接事業費計	前年度決算額	3,682,668 円	決 算 額		2,927,857 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	中学校特別支援教育奨励事業	コード	01	10	03	02	03	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち 基本施策：3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる 施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)		障がいのある生徒の保護者				
2 働きかける相手(対象)		障がいのある生徒の保護者				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		障がいのある生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校特別支援教育奨励事業 特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。					
	(1) 支給人数 24人 (2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 178,560円 イ 学校給食費 517,010円 ウ 新入学用品費 117,750円 エ 校外活動費 17,144円 オ 修学旅行費 189,742円					
5 活動指標	指標名	支給人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 16.00	人 個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 14.00	人	
			平成 27 年度	人 18.00	人	
			平成 28 年度	人 24.00	人	
6 直接事業費計		前年度決算額		770,148 円	決 算 額	1,020,206 円

I. 事業の目的体系

1. 事業名	中学校就学援助事業	コード	01	10	03	02	04	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)		経済的な事情により、就学困難な町立中学校生徒							
2 働きかける相手(対象)		町立中学校生徒の保護者							
3 どのような状態にしたいのか(意図)		経済的理由により就学困難な生徒の保護者を援助することにより、すべての生徒が安心して義務教育を受けることができるよう円滑な義務教育の運営を図ります。							
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校就学援助事業 町立中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。								
	(1) 支給人員 72人								
	(2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、生徒会費								
	(3) 費目別支給金額								
	ア 学用品費 1,558,680円								
	イ 通学用品費 155,810円								
	ウ 学校給食費 3,035,240円								
	エ 新入学用品費 447,450円								
	オ 校外活動費 582,063円								
	カ 修学旅行費 1,511,337円								
キ PTA会費 119,750円									
ク 生徒会費 33,958円									
5 活動指標	指標名	支給人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値				
			平成 25 年度	人 79.00	人	個別計画による目標値はありません。			
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 87.00	人				
			平成 27 年度	人 74.00	人				
			平成 28 年度	人 72.00	人				
6 直接事業費計		前年度決算額		6,895,835 円		決 算 額		7,444,288 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	中学校情報教育推進事業	コード	01	10	03	02	05	-
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る 施策の展開方向：(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町立中学校生徒
2 働きかける相手(対象)	町立中学校生徒、町立中学校施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	全中学校のコンピュータ教室の生徒用コンピュータを効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で生徒がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校情報教育推進事業 全中学校のコンピュータ教室に設置してある情報機器120台（3校×40台）を利用し、情報教育を推進できる環境を整備しました。 (1) コンピュータ教室機器の賃貸借（1校当たりの台数） ア 生徒用機器 40台、教師用機器 1台 イ カラープリンタ 2台 ウ プロジェクタ 2台 エ デジタルカメラ 10台 オ スキャナ 2台 カ 電子黒板 1台 (2) 安全に情報へアクセスできる環境 生徒がインターネットなどで安全に情報を取得できる環境を整備しました。 ア インターネットプロバイダへの接続 3校 イ ルータによる外部からの侵入の防御 3校 ウ インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限 3校 エ ウイルス対策ソフトウェアの導入 3校 (3) 情報コンテンツの利用による授業展開 コンピュータグラフィックなどにより分かりやすく表現した情報コンテンツ等を利用して授業を行い、理解度を深めました。 利用コンテンツ数 15個				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	各学校に設置したコンピュータの台数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 25 年度	台 218.00	台 413.00	文部科学省の整備基準 （生徒3.6人に対しコンピュータ1台）
			平成 26 年度	台 120.00	台 420.00	
			平成 27 年度	台 120.00	台 410.00	
			平成 28 年度	台 120.00	台 400.00	
6 成果指標	指 標 名	コンピュータ教室のコンピュータ設置台数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 25 年度	台 120.00	台 120.00	40台（1学級最大生徒数対応台数）×3校
			平成 26 年度	台 120.00	台 120.00	
			平成 27 年度	台 120.00	台 120.00	
			平成 28 年度	台 120.00	台 120.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	9,868,282 円	決 算 額		9,854,020 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	33,959,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	32,233,274 円
目	1	社会教育総務費	前 年 度 決 算 額	29,348,370 円
			対 前 年 比	109.8 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	社会教育委員会運営事業	コード	01	10	04	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	社会教育委員
3 どのような状態に したいのか(意図)	社会教育委員としての見聞を広め、地域と行政の連携を促進し、効果的な生涯学習を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育委員会運営事業 (1) 社会教育法第15条に基づく社会教育委員20名により、年間6回の委員会を開催し、社会教育行事の内容及び運営方法について検討し、社会教育の充実を図りました。 (2) 東海北陸社会教育委員研究大会が石川県金沢市で開催され2名が参加し、生涯学習推進事業についての会議と情報交換を行いました。 (3) 委員県外研修で、岐阜県八百津町の旧八百津発電所資料館、杉原千畝記念館等を15名が視察し、委員の資質向上に努めました。			
-------------------------	---	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	委員会開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 6.00	回	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回 6.00	回	
			平成 27 年度	回 6.00	回	
			平成 28 年度	回 6.00	回	
6 直接事業費計		前年度決算額	885,357 円	決 算 額		909,715 円

I. 事業の目的体系

1. 事業名	社会教育一般管理事業	コード	01	10	04	01	03	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	社会教育委員、社会教育指導員
3 どのような状態に したいのか(意図)	県社会教育委員連絡協議会における研修等に積極的に参加し、情報交換しながら本町に合った施策を実施することによって生涯学習を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育総務一般事務事業 (1) 県社会教育委員連絡協議会の会議等に参加しました。 ア 東尾張支部社会教育委員連絡協議会総会 (イ) 出席者 4名 (ロ) 開催日 平成28年5月19日(木) (ハ) 会場 小牧市まなび創造館あさひホール イ 県社会教育委員連絡協議会評議員会・総会 (イ) 出席者 5名 (ロ) 開催日 平成28年6月2日(木) (ハ) 会場 刈谷市総合文化センター ウ 愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部研修会 (イ) 出席者 6名 (ロ) 開催日 平成28年10月5日(水) (ハ) 会場 美浜町総合公園体育館 (2) 社会教育事業の指導のため、社会教育指導員1名を委嘱しました。				

5 活動指標	指 標 名	県社会教育委員連絡協議会会議 及び研修への参加日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	日 5.00	日	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	日 5.00	日	
			平成 27 年度	日 5.00	日	
			平成 28 年度	日 3.00	日	
6 直接事業費計		前年度決算額	19,500 円	決 算 額		1,820,260 円

款	10	教育費	予 算 現 額	42,657,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	38,675,414 円
目	2	社会教育振興費	前 年 度 決 算 額	39,597,170 円
			対 前 年 比	97.7 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	社会教育振興事業	コード	01	10	04	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	東郷町の生涯学習及び社会教育に関心と参加意欲を持つ人
2 働きかける相手(対象)	町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	生涯学習関連事業の情報を各家庭で用意に入手できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育振興一般事務事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：平成28年秋号17,500部 平成29年春号17,500部 (2) 「東郷の教育」の刊行（年1回） 印刷部数：200部 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 前年から6人増加し、214人になりました。 (4) ボランティア活動等主催者賠償責任保険に加入しました。 加入団体：社会教育関係5団体				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	「ジョイフル」及び「東郷の教育」発行部数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	部 34,400.00	部	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	部 34,400.00	部	
			平成 27 年度	部 34,400.00	部	
			平成 28 年度	部 35,200.00	部	
6 成果指標	指 標 名	ジョイフルのページ数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	頁 40.00	頁 40.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	頁 40.00	頁 40.00	
			平成 27 年度	頁 40.00	頁 40.00	
			平成 28 年度	頁 40.00	頁 40.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	979,308 円	決 算 額		954,170 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	町民納涼まつり開催事業	コード	01	10	04	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する							
	施策の展開方向：(3) 町民相互の絆を深める							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	納涼まつり来場者
2 働きかける相手(対象)	町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	「東郷音頭」・「東郷小唄」をみんなで踊ることを通じて、地域の伝統文化が伝承されるとともに、町民相互の交流を促進します。さらに、行政主導ではなく、町民中心・民営の「まつり」へと移行していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町民納涼まつり開催事業 東郷音頭、東郷小唄等を踊り、諸輪の囃太鼓や現代和太鼓を楽しみ、コミュニティを広めていくため、東郷創立110周年記念第38回町民納涼まつりを実施しました。 今年度は、東郷創立110周年記念として、昨年以前から実施していた東郷町町民総踊り普及振興会による「東郷町舞myフェスタ」を第1部、昔ながらの盆踊りを第2部、今年度から実施の東郷町商工会青年部による手筒花火を第3部とした3部構成で納涼まつりを実施しました。 また、記念事業として納涼まつり写真展を開催し、町内外から14点の作品の出展がありました。 さらに、健康課によるとうごう体操のレクチャーを行い、とうごう体操の普及にも努めました。 (1) 開催日：平成28年8月20日(土)午後3時～午後9時 (2) 参集人員：9,000人 (3) 運営委員会：7月1日 出席者数 4名(構成団体4団体) (4) 実行委員会：7月21日 出席者数 17名(構成団体6団体) (5) まつり参加団体(協力団体8団体) 東郷町文化協会、東郷町商工会、東郷音頭保存会、あいち尾東農業協同組合東郷事業本部、社会教育委員会、区・自治会、愛知警察署、尾三消防本部東郷消防署				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	まつりのため活動する関係者の人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指 標 式)		平成 25 年度	人 19.00	人	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	人 17.00	人	
			平成 27 年度	人 19.00	人	
			平成 28 年度	人 21.00	人	
6 成果指標	指 標 名	納涼まつり入場者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指 標 式)	納涼まつり開催中の会場内延べ人数	平成 25 年度	人 8,000.00	人 8,000.00	会場規模等から見た最大人数（8,000人）を目標とする。
			平成 26 年度	人 9,000.00	人 8,000.00	
			平成 27 年度	人 9,500.00	人 8,000.00	
			平成 28 年度	人 9,000.00	人 8,000.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	3,771,448 円	決 算 額		3,910,958 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	家庭教育等推進事業	コード	01	10	04	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る 施策の展開方向：(1) 家庭や地域と連携した学校教育の充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		家庭を形成する親子・家族				
2 働きかける相手(対象)		各小学校区単位の家庭教育推進委員会				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。					
	(1) 東郷小学校	開催講座数	7 講座	延べ参加人数	269人	
	(2) 春木台小学校	開催講座数	4 講座	延べ参加人数	131人	
	(3) 諸輪小学校	開催講座数	7 講座	延べ参加人数	295人	
	(4) 音貝小学校	開催講座数	4 講座	延べ参加人数	147人	
	(5) 高嶺小学校	開催講座数	3 講座	延べ参加人数	139人	
	(6) 兵庫小学校	開催講座数	6 講座	延べ参加人数	657人	
			合 計	1,638人		
5 活動指標	指 標 名	各小学校区における講座等の実施数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 36.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回 35.00	回	
			平成 27 年度	回 30.00	回	
			平成 28 年度	回 31.00	回	
6 成果指標		指 標 名	家庭教育推進事業参加延べ人数	年 度	実 績 値	目 標 値
			平成 25 年度	人 2,001.00	人 1,931.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	人 1,650.00	人 2,001.00	
			平成 27 年度	人 1,562.00	人 1,650.00	
			平成 28 年度	人 1,638.00	人 1,562.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	212,154 円	決 算 額		202,600 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	青少年健全育成事業	コード	01	10	04	02	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：7 青少年の健全な育成を進める 施策の展開方向：(1) 地域と行政が一体となった青少年健全育成活動							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	東郷町の青少年
2 働きかける相手(対象)	青少年健全育成団体、青少年、町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	青少年健全育成事業 (1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資料の作成及び配布を実施しました。 ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（平成28年11月13日表彰式） 青少年の部 20人 青少年指導者の部 2人 青少年団体の部 なし イ 啓発資料作成及び掲示（11月中） のぼり（190枚） (2) 少年補導委員事業 少年補導員6名による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。（10日/月）					
-------------------------	---	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	会議・大会の開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 5.00	回	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 （指 標 式）	地区長会（2 回）、役員会（2 回）、表彰式（1 回）の開催回数	平成 26 年度	回 5.00	回	
			平成 27 年度	回 5.00	回	
			平成 28 年度	回 5.00	回	
6 成果指標	指 標 名	各地区青少年健全育成行事参加者延べ人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 26,348.00	人 33,500.00	前年度実績
	指標の説明 （指 標 式）	地区推進委員会、盆踊り、パトリールの行事等、地区において参加した人数	平成 26 年度	人 26,396.00	人 26,348.00	
			平成 27 年度	人 26,587.00	人 26,396.00	
			平成 28 年度	人 26,591.00	人 26,587.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	688,942 円	決 算 額		634,642 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	文化団体育成事業	コード	01	10	04	02	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む 施策の展開方向：(4) 文化団体の活動促進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民						
2 働きかける相手(対象)		文化団体						
3 どのような状態にしたいのか(意図)		団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。						
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化団体育成事業 (1) 文化協会育成推進事業 文化産業まつり「芸能大会」に「第31回国民文化祭・あいち2016」の冠を付け実施しました。 文化協会の運営活動に対し補助金を交付しました。 ア 加盟団体数28団体(休部2団体) イ 各部の活動回数 囃太鼓 13回 棒の手 3回 絵手紙 16回 茶華道 14回 書道 5回 舞踊 13回 囲碁 79回 民謡 23回 俳句 17回 陶芸 9回 古文書 14回 詩吟 7回 歌謡 7回 インタレーション 7回 ハワイアンダンス 14回 文章 14回 太鼓 6回 水墨画 33回 社交ダンス 53回 キッドビクス 55回 箏曲 13回 フラワー 13回 写真 24回 絵画 31回 ギター 20回 手芸&和紙 10回 (合計 513回) (2) 東郷音頭保存会育成事業 東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。 ア 会員数 個人会員91人・団体会員8組 イ 自主活動回数 (ア) 練習会 5回 (イ) 伝統文化こども教室 10回 (ウ) 施設訪問 1回 (エ) 保育園・児童館・幼稚園・放課後子ども教室での指導 26回 (オ) 町行事(民謡講習会、町民納涼まつり、高齢者福祉大会、伝統文化発表会、保育園運動会・夏祭り) 6回 (カ) その他行事(地区盆踊り、和合病院盆踊り大会、愛厚ホーム東郷苑盆踊り大会) 15回							
5 活動指標	指標名	文化協会加盟部数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値			
			平成 25 年度	団体 30.00	団体	個別計画による目標値はありません。		
	指標の説明 (指標式)	平成 26 年度	団体 30.00	団体				
		平成 27 年度	団体 28.00	団体				
		平成 28 年度	団体 28.00	団体				
6 成果指標	指標名	各部の活動回数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法		
			平成 25 年度	回 471.00	回 207.00	前年度実績		
	指標の説明 (指標式)	平成 26 年度	回 617.00	回 471.00				
		平成 27 年度	回 644.00	回 617.00				
		平成 28 年度	回 513.00	回 644.00				
7 直接事業費計	前年度決算額	1,915,296 円	決 算 額		2,437,286 円			

I. 事業の目的体系

1 事業名	成人式開催事業	コード	01	10	04	02	06	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	成人式出席予定の新成人
2 働きかける相手(対象)	新成人及びその家庭
3 どのような状態に したいのか(意図)	二十歳を迎えた新成人をお祝いするとともに、新成人が明るい未来への担い手としての自覚を持ち、社会人として責任ある行動がとれるよう、成人式をとおして新成人の意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人式開催事業 平成29年1月8日(日)に町民会館において成人式を開催しました。 (1) 成人式案内状送付数 508通 (2) 出席者数 402名 (3) 記念写真作成 420部 (4) 実行委員会 新成人から実行委員を公募し、実行委員会形式での式を開催しました。 ア 募集方法 7月号広報、ホームページ、生涯学習情報誌ジョイフル春号 イ 開催回数 2回 ウ 実施内容 受付、司会、誓いの言葉等					
-------------------------	--	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	成人式案内状発送件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	件 408.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	件 435.00	件	
			平成 27 年度	件 475.00	件	
			平成 28 年度	件 508.00	件	
6 成果指標	指 標 名	成人式出席率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	% 77.69	% 78.06	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)	出席者÷発送件数×100	平成 26 年度	% 85.05	% 77.69	
			平成 27 年度	% 71.80	% 85.05	
			平成 28 年度	% 79.13	% 71.80	
7 直接事業費計	前年度決算額	826,586 円	決 算 額		903,640 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	放課後子ども教室推進事業	コード	01	10	04	02	07	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る							
	施策の展開方向：(4) 放課後児童対策の実施							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		小学校に在籍する児童				
2 働きかける相手(対象)		小学校に在籍する児童及び保護者、地域住民				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学年の異なる子ども同士や地域の大人との交流を図り、学習の支援を始めとした様々な体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	放課後子ども教室推進事業					
	(1) 内容 ア 学びの場：自主学習の支援、読書等 イ 遊びの場：将棋・囲碁、トランプ、体育館スポーツ、屋外での遊び等 ウ 体験の場：お茶の手ほどき、工作、昔遊び等 エ ふれあいの場：グランドゴルフ、自然観察等 (2) 開所日等 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで 月曜日から金曜日まで(年末年始(12/28～1/9)、お盆の期間(8/11～17)、国民の祝日に関する法律に規定する休日、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。) 授業のある日：各学年授業終了後から午後5時30分まで 授業のない日：午前9時から午後5時まで (ただし、学校行事等で開所しない場合あり。) (3) 場所 兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校 (4) 開所日数 220日(兵庫) 221日(高嶺) 215日(東郷) 223日(音貝) 222日(諸輪) 221日(春木台) (5) 登録数及び1日平均参加児童数 191人登録 約24人/日(兵庫) 139人登録 約22人/日(高嶺) 141人登録 約19人/日(東郷) 206人登録 約43人/日(音貝) 170人登録 約34人/日(諸輪) 153人登録 約26人/日(春木台) (6) 参加費 無料(別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の負担) (7) 研修 ア 放課後子どもプラン指導者研修会に参加した。(コーディネーター始め6人) イ 普通救命講習会(コーディネーター始め22人)					
5 活動指標	指標名	放課後子ども教室開所日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	日 882.00	日	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	日 1,043.00	日	
			平成 27 年度	日 1,267.00	日	
			平成 28 年度	日 1,322.00	日	
6 成果指標	指標名	1日平均参加児童数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 1校平均25人
			平成 25 年度	人 115.00	人 100.00	
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 142.00	人 125.00	
			平成 27 年度	人 173.00	人 150.00	
			平成 28 年度	人 168.00	人 150.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	31,203,436 円	決 算 額		29,632,118 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	6,540,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	5,384,912 円
目	3	公民館費	前 年 度 決 算 額	4,843,611 円
			対 前 年 比	111.2 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	公民館一般管理事業	コード	01	10	04	03	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	公民館利用者
2 働きかける相手(対象)	社会教育委員及び職員
3 どのような状態に したいのか(意図)	公民館連合会等の研修・研究事業に参加し情報交換することによって、充実した社会教育活動を展開していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	公民館一般事務事業 愛知県公民館連合会主事部会代表者会・研修会に1名が参加しました。			
-------------------------	---	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	愛知県公民館連合会会議における社会教育委員等参加数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 3.00	人	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	人 2.00	人	
	指標の説明 (指 標 式)		平成 27 年度	人 2.00	人	
			平成 28 年度	人 1.00	人	
6 直接事業費計	前年度決算額		20,000 円	決 算 額		20,180 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	公民館文化ふれあい事業	コード	01	10	04	03	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：(4) こころの豊かさを育てる機会の充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		町民				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		1 コンサートへの誘い事業 第73回 錦織健リサイタル「ロック to バロック」 (1) 開催日 平成29年2月25日(土) (2) 入場者数 515人 2 レクチャー・ミニコンサート事業 サロンコンサート風の雰囲気の中でアーティスト自身のレクチャーと演奏によって音楽を楽しく学ぶために、レクチャー・ミニコンサートを6回実施しました。(延べ入場者数257人) 3 町民大学講座(ミニ文化講演)事業 今日的課題をテーマとして、様々な分野のエキスパートによるゼミ形式のミニ講演会(全4回)を実施しました。(延べ参加者数132人)				
5 活動指標	指標名	公民館文化ふれあい事業の年間開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 13.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	回 12.00	回	
			平成 27 年度	回 12.00	回	
			平成 28 年度	回 11.00	回	
6 成果指標		指標名	公民館文化ふれあい事業の入場者数	年 度	実 績 値	目 標 値
			平成 25 年度	人 1,542.00	人 985.00	前年度実績
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 1,194.00	人 1,542.00	
			平成 27 年度	人 1,178.00	人 1,194.00	
			平成 28 年度	人 904.00	人 1,178.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	3,178,002 円	決 算 額		3,428,047 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	音楽祭開催事業	コード	01	10	04	03	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む 施策の展開方向：(4) 文化団体の活動促進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
2 働きかける相手(対象)	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
3 どのような状態に したいのか(意図)	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒が日頃の練習の成果を発表するために音楽祭を開催しました。 (1) 東郷少年少女合唱団 こどもミュージカル「サウンドオブミュージック」 ア 開催日 平成29年3月18日(土) イ 入場者数 549名 ウ 出場団体数 1団体 26人 (2) ソロ・アンサンブルの部 ア 開催日 平成28年12月4日(日) イ 入場者数 288名 ウ 出場団体数 7組 (3) 吹奏楽の部 ア 開催日 平成28年12月11日(日) イ 入場者数 496名 ウ 出場団体数 4組 (4) 合唱の部 ア 開催日 平成29年3月12日(日) イ 入場者数 519名 ウ 出場団体数 13組				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	年間開催日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	平成 25 年度		日 4.00	日	個別計画による目標値 はありません。	
	指標の説明 (指 標 式)	平成 26 年度	日 3.00	日		
		平成 27 年度	日 3.00	日		
		平成 28 年度	日 4.00	日		
6 成果指標	指 標 名	音楽祭参加個人・団体数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	団体 29.00	団体 31.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)	ソロ・アンサンブル、吹奏楽、 合唱の参加個人・団体数	平成 26 年度	団体 24.00	団体 29.00	
			平成 27 年度	団体 25.00	団体 24.00	
			平成 28 年度	団体 25.00	団体 25.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	260,083 円	決 算 額		692,904 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	各種教室開催事業	コード	01	10	04	03	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：(1) 参加しやすい講座の開講							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		生涯学習に興味のある町民						
2 働きかける相手(対象)		生涯学習に興味のある町民						
3 どのような状態にしたいのか(意図)		興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。						
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	各種教室開催事業							
	(1) 英会話教室	1 回開催	10回講座	参加者	14人	延べ	126人	
	ア 基礎英会話	1 回開催	10回講座	参加者	15人	延べ	124人	
	イ 実用英会話	2 回開催	12回講座	参加者	15人	延べ	276人	
	(2) 少年少女ミュージッククラス	1 回開催	7 回講座	参加者	11人	延べ	65人	
	(3) 楽しいクラシックギター	2 回開催	1 回講座	参加者	各17人	延べ	34人	
	(4) 楽しいシニア向けスマートフォン教室	1 回開催	3 回講座	参加者	18人	延べ	48人	
	(5) 歴史講座	1 回開催	1 回講座	参加者	44人	延べ	44人	
	(6) 夏休み特別授業	1 回開催	10回講座	参加者	7 人	延べ	69人	
	(7) ゼロからのスペイン語	1 回開催	1 回講座	参加者	13人	延べ	13人	
	(8) 文化財めぐり	1 回開催	3 回講座	参加者	11人	延べ	30人	
	(9) 日常生活に役立つ話し方セミナー	1 回開催	10回講座	参加者	4 人	延べ	31人	
	(10) ゼロからのポルトガル語+α	1 回開催	10回講座	参加者	186人	延べ	860人	
	合計	13回開催	68回講座	参加者				

款	10	教育費	予 算 現 額	1,860,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	1,542,464 円
目	4	文化財保護費	前 年 度 決 算 額	1,501,114 円
			対 前 年 比	102.8 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	文化財保護事業	コード	01	10	04	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む 施策の展開方向：(3) 文化財の保存と継承							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	文化財保護関係者、町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう保存していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化財保護事業 (1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を年2回開催しました。 (2) 文化財講座等事業 ア 文化財めぐり 町民に文化財を理解してもらうために文化財めぐりを開催しました。 期日 平成28年10月23日(日) 場所 黒笹7号窯跡、祐福寺一里塚、旭丘東郷分校跡碑、諸輪公民館 参加者 13人 イ 歴史講座 「徳川家康没後400周年徳川家康を探る」と題して3回連続講座を開催しました。 講師：原史彦氏(徳川美術館 学芸員) 参加者 25人 (3) 文化財保存事業 祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。 (4) 町指定無形民俗文化財保存育成事業 ア 町指定無形民俗文化財の保存育成、備品の修繕等に対する補助を3団体に対し行いました。 イ 伝統文化こども教室の発表会を開催しました。
-------------------------	---

5 活動指標	指 標 名	文化財保護委員会の年間会議開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回 2.00	回	
			平成 27 年度	回 2.00	回	
			平成 28 年度	回 2.00	回	
6 成果指標	指 標 名	指定文化財の数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	件 27.00	件 28.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)	愛知県指定文化財と東郷町指定文化財の件数	平成 26 年度	件 27.00	件 27.00	
			平成 27 年度	件 27.00	件 27.00	
			平成 28 年度	件 27.00	件 27.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	691,315 円	決 算 額	639,554 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	歴史民俗資料事業	コード	01	10	04	04	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む 施策の展開方向：(3) 文化財の保存と継承							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	文化財保護関係者及び一般町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	歴史民俗一般管理事業 (1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開催し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。 (2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 6回開催 延べ220名が参加 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明 (3) 新収蔵品 民俗資料 いたこ、たたき、アルミ杓子、折れ尺、そろばん、うげ、ざる、たびの型、ごま煎り、たらい、半切桶、煎り鍋、寿司桶、ねり鉢、火鉢、みそ入れ、硬貨、葛籠、手あぶり火鉢、てんびつ、南京袋、醤油樽、養蚕用暖房具、火消し壺、つけもの桶、草鞋、藁草履、重箱 (4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	ガイドツアー開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回 4.00	回	
			平成 27 年度	回 5.00	回	
			平成 28 年度	回 6.00	回	
6 成果指標	指 標 名	ガイドツアー延べ参加者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 118.00	人 87.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	人 152.00	人 118.00	
			平成 27 年度	人 92.00	人 152.00	
			平成 28 年度	人 220.00	人 92.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	809,799 円	決 算 額	902,910 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	89,681,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	83,885,254 円
目	5	町民会館費	前 年 度 決 算 額	75,347,491 円
			対 前 年 比	111.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	町民会館管理事業	コード	01	10	04	05	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民会館を利用する人
2 働きかける相手(対象)	町民会館の施設・設備を管理する指定管理者及び町民会館利用者
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民会館を安全・快適に利用できるよう適正な業務管理を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 町民会館一般事務事業 町民会館の円滑な運営を図るため文化行政ネットワーク会議、東尾張文化行政研究会に参加し、情報交換しました。 2 町民会館一般管理事業 町民会館について指定管理者（東郷町施設サービス㈱）による施設管理を実施しました。 町民会館エレベーターを更新し賃貸借としました。それに伴い設計業務と管理業務を実施しました。 町民会館用地等（3,185㎡）を賃借しました。 町民会館駐車場用地取得に伴う償還払いを実施しました。 (1) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで (2) 町民会館利用状況 ア 開館日数 308日 イ ホール利用件数 238件（利用者数 26,257人） ウ 会議室利用件数 8,278件（利用者数 53,488人） (3) 指定管理者運営連絡会議 東郷町施設サービス㈱と指定管理事業について協議しました。 毎月1回開催
-------------------------	---

5 活動指標	指 標 名	開館日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	日 310.00	日	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	日 307.00	日	
			平成 27 年度	日 311.00	日	
			平成 28 年度	日 308.00	日	
6 成果指標	指 標 名	町民会館利用者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 80,942.00	人 79,660.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	人 81,789.00	人 80,942.00	
			平成 27 年度	人 80,336.00	人 81,789.00	
			平成 28 年度	人 79,745.00	人 80,336.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	66,196,296 円	決 算 額		75,724,713 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	町民会館文化ふれあい事業	コード	01	10	04	05	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：(4) こころの豊かさを育てる機会の充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		町民及び周辺住民				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 (1) 音楽のおくりもの わいわいコンサート・アフターヌーンコンサート 実施回数 2回、参加者数 552人 (2) 夏休み親子向けトークショー「将棋の楽しみ方」 実施回数 1回、参加者数 54人 (3) 鎌田實講演会 「がんばらない」けど「あきらめない」～命を支えるということ～ 実施回数 1回、参加者数 217人 (4) チェコ少年合唱団 クリスマス・コンサート2016 実施回数 1回、参加者数 335人 (5) 島田洋七講演会「笑顔で生きたい！」 実施回数 1回、参加者数 177人				
5 活動指標	指標名	公演開催件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	件 7.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	件 7.00	件	
			平成 27 年度	件 5.00	件	
			平成 28 年度	件 6.00	件	
6 成果指標	指標名	「町民会館文化ふれあい事業」 入場者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 2,879.00	人 2,916.00	前年度実績
	指標の説明 (指標式)	年間参加者数	平成 26 年度	人 2,258.00	人 2,879.00	
			平成 27 年度	人 2,032.00	人 2,258.00	
			平成 28 年度	人 1,335.00	人 2,032.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	9,151,195 円	決 算 額	8,160,541 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	34,494,000 円
項	4	社会教育費	決 算 額	34,451,628 円
目	6	図書館費	前 年 度 決 算 額	34,478,664 円
			対 前 年 比	99.9 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	図書館管理運営事業	コード	01	10	04	06	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する 施策の展開方向：(4) こころの豊かさを育てる機会の充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	図書館来館者
2 働きかける相手(対象)	図書館来館者、図書館施設及び備品
3 どのような状態に したいのか(意図)	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄れ、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	図書館管理運営事業 (1) 図書館管理運営事業 ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。 (7) 図書館協議会委員数 8名 (4) 図書館協議会開催回数 年1回 イ 図書館の利用状況 (7) 図書館会館日数 280日 (4) 利用者数 38,539人 (7) 入館者数 94,416人 (1) 貸出冊数 156,571冊 (2) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	利用者総数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	人 37,170.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	図書の利用者総数	平成 26 年度	人 39,213.00	人	
			平成 27 年度	人 39,304.00	人	
			平成 28 年度	人 38,539.00	人	
6 成果指標	指 標 名	貸出冊数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	冊 153,248.00	冊 150,239.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	冊 153,821.00	冊 153,248.00	
			平成 27 年度	冊 154,445.00	冊 153,821.00	
			平成 28 年度	冊 156,571.00	冊 154,445.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	34,478,664 円	決 算 額		34,451,628 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	37,460,000 円
項	5	保健体育費	決 算 額	36,938,261 円
目	1	保健体育総務費	前 年 度 決 算 額	25,109,577 円
			対 前 年 比	147.1 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	スポーツ一般管理事業	コード	01	10	05	01	02	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	研修会参加者、町民
2 働きかける相手(対象)	他県近隣市町村研修担当者、町民
3 どのような状態にしたいのか(意図)	他県や近隣市町村の研修会及び大会への参加を通して、各種スポーツの情報を習得し、スポーツ事業を円滑に運営するなど、誰もが運動・スポーツを楽しむことができますようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健体育一般事務事業 (1) 全国ボート場所在市町村協議会に加盟して、負担金を支払いました。 (2) 全国ボート場所在市町村協議会主催の第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会（埼玉県戸田市）に、本町代表7クルーが参加して、ボート競技を通じて各市町村との交流を図りました。 (3) 全国市町村交流レガッタ参加のための、参加負担金及び旅費を支払いました。 (4) スポーツ基本法に基づく東郷町スポーツ推進計画（平成29年度～平成38年度）を策定しました。 ア 策定委員会開催 年4回 イ 策定委員 12人 (5) 各種研修会等へ参加しました。				

5 活動指標	指 標 名	研修会等の参加数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	平成 25 年度		回 6.00	回	個別計画による目標値 はありません。	
	指標の説明 (指 標 式)	ボート関係の会議、大会とス ポーツ推進委員の研修、大会の 参加数	平成 26 年度	回 6.00		回
			平成 27 年度	回 6.00		回
			平成 28 年度	回 7.00		回
6 直接事業費計		前年度決算額	1,700,467 円	決 算 額	4,213,573 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	スポーツ等指導者育成事業	コード	01	10	05	01	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(2) 指導者の育成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	スポーツをする人、スポーツ推進委員及び体力づくり推進委員
2 働きかける相手(対象)	スポーツ推進委員及び体力づくり推進委員
3 どのような状態に したいのか(意図)	スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 スポーツ推進委員事業 スポーツ推進委員23名が、本町のスポーツ振興のために、家族体力づくりの日、レクリエーションスポーツなどの各種スポーツ大会及び事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行いました。 また、スポーツ関係機関との連絡調整及び各種研修会に参加して、ニュースポーツの紹介、競技の指導技術及び知識の高揚に努めました。 (1) スポーツ推進委員定例会 年12回開催 (2) 豊明日進長久手東郷スポーツ推進委員連絡協議会役員会 年4回開催 (3) 愛日・愛知県・東海4県・全国のスポーツ推進委員研究会等に参加しました。 2 体力づくり推進委員事業 体力づくり推進委員52名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修を実施しました。 (1) 体力づくり推進委員前期研修 平成28年6月19日(日)愛知池漕艇場 ボート実技研修・救命救急講習 体力づくり推進委員33名参加、スポーツ推進委員18名参加 (2) 体力づくり推進委員後期研修 平成29年2月19日(日)総合体育館アリーナ スナッグゴルフ実技研修 体力づくり推進委員35名参加、スポーツ推進委員21名参加				

5	指 標 名	スポーツ推進委員の年間活動日数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指 標 式)	スポーツ推進委員の行事、定例会などの活動日数	平成 25 年度	日 50.00	日	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	日 50.00	日	
			平成 27 年度	日 53.00	日	
			平成 28 年度	日 50.00	日	
6	指 標 名	ニュースポーツ指導日数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指 標 式)	スポーツ推進委員、体力づくり推進委員が主体となって町民にニュースポーツを指導した日数	平成 25 年度	日 24.00	日 24.00	前年度実績
			平成 26 年度	日 24.00	日 24.00	
			平成 27 年度	日 22.00	日 24.00	
			平成 28 年度	日 23.00	日 22.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	4,600,046 円	決 算 額	4,271,705 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	高校総体開催準備事業	コード	01	10	05	01	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える 施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		参加者、町民				
2 働きかける相手(対象)		高等学校体育連盟、競技団体、高校生				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		各県代表選手が、成果を十分発揮できるようにします。また、高校総体を通じてポート振興を図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	高校総体開催準備事業 (1) 会議に出席しました。 ア 愛知県準備委員会 3回 イ 愛知県関係者連絡会議 6回 (2) 先催県を視察しました。 ア 視察日 平成28年7月28日から平成28年8月1日 イ 視察先 島根県雲南市(競技場：さくらおろち湖ポート競技施設) ウ 内 容 開会式、競技、閉会式 (3) インターホン配線調査業務を委託しました。 愛知池漕艇場の既設インターホン現状調査及び施設改修案作成 (4) 事務室改修工事を実施しました。 事務室改修及び空調設備整備 (5) 愛知県高等学校体育連盟ポート専門部、愛知県ポート協会等の関係団体と大会開催に向けて打合せを実施しました。 打合せ回数 10回					
5 活動指標	指 標 名	関係団体との打合せ回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回	回	
			平成 27 年度	回	回	
			平成 28 年度	回 10.00	回	
6 成果指標	指 標 名	関係団体との打合せ出席者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 1回＝9人 内訳：愛知県高等学校体育連盟ポート専門部4人(県内4校ポート部顧問)＋愛知県ポート協会役員3人＋町職員2人
			平成 25 年度	人	人	
	指標の説明 (指 標 式)	愛知県高等学校体育連盟ポート専門部、愛知県ポート協会、町職員の出席者数	平成 26 年度	人	人	
			平成 27 年度	人	人	
			平成 28 年度	人 94.00	人 90.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額		1,385,671 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	19,541,000 円
項	5	保健体育費	決 算 額	18,576,660 円
目	2	体育振興費	前 年 度 決 算 額	14,704,629 円
			対 前 年 比	126.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	スポーツ団体育成事業	コード	01	10	05	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える 施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	スポーツ団体等の加入者
2 働きかける相手(対象)	東郷町体育協会、少年少女スポーツクラブ、東郷町ボート協会、愛知東郷ボートクラブ
3 どのような状態にしたいのか(意図)	スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	スポーツ団体育成事業 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。 (1) 東郷町体育協会 ア 加盟団体数 16団体 イ 各部の自主大会及び行事開催回数 (合計66回) 野球部 8回 弓道部 5回 バレーボール部 5回 卓球部 2回 ソフトボール部 12回 空手道部 2回 柔道部 1回 剣道部 1回 バドミントン部 4回 ゲートボール部 4回 インディアカ部 5回 テニス部 4回 ショートテニス部 6回 ビーチボール部 3回 グラウンドゴルフ部 3回 陸上部 1回 (2) 少年少女スポーツクラブ ア 加盟団体数 1団体 イ 各部の自主大会及び行事開催回数 バスケットボール部 1回 (3) 東郷町ボート協会 ア 構成団体数 1団体 イ 自主大会及び行事開催回数 (合計2回) 中学生ボート競漕記録会 1回 町民レガッタ 1回 ウ 各種大会への参加「愛知東郷ボートクラブ」(合計7回) 中日本レガッタ 町中学生ボート競漕記録会 全日本中学選手権競漕大会 ジャパンレディースレガッタ 全国中学校新人競漕大会 全国マシンのローイング大会 全日本中学選抜ボート大会 (4) T O G Oスポーツクラブ (12回開催) 各小学校においてスポーツ教室等を実施					
-------------------------	---	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	補助団体数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	団体 5.00	団体	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	4 団体（町体育協会、町ボート 協会、町少年少女スポーツクラ ブ、ＴＯＧＯスポーツクラブ）	平成 26 年度	団体 4.00	団体	
			平成 27 年度	団体 4.00	団体	
			平成 28 年度	団体 4.00	団体	
6 成果指標	指 標 名	補助団体大会の開催数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	回 87.00	回 75.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)	補助団体が町民のために開催し た大会等の回数	平成 26 年度	回 84.00	回 87.00	
			平成 27 年度	回 80.00	回 84.00	
			平成 28 年度	回 81.00	回 80.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	3,571,000 円	決 算 額		3,571,000 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	体力づくり推進事業	コード	01	10	05	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(3) 参加しやすい環境づくり							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		スポーツ活動をする人				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	体力づくり推進事業 (1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して「家族体力づくりの日」を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッチビー、グラウンドゴルフ等を行いました。また、各小学校区において年1～2回スポーツ大会や体力測定を実施しました。 (2) 「家族体力づくりの日」参加状況					
	ア 東郷小学校区 279人 イ 春木台小学校区 292人 ウ 諸輪小学校区 709人 エ 音貝小学校区 218人 オ 高嶺小学校区 772人 カ 兵庫小学校区 327人 合計 2,597人					
5 活動指標	指標名	「家族体力づくりの日」実施回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 70.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	回 68.00	回	
			平成 27 年度	回 69.00	回	
			平成 28 年度	回 70.00	回	
6 成果指標			指標名	「家族体力づくりの日」の平均参加人数	年 度	実 績 値
			平成 25 年度	人 201.00	人 242.00	過去3年間の平均値
	指標の説明 (指標式)	1 か月当たりの平均参加人数	平成 26 年度	人 211.00	人 221.00	
			平成 27 年度	人 213.00	人 207.00	
			平成 28 年度	人 216.00	人 208.00	
7 直接事業費計			前年度決算額	310,939 円	決 算 額	

I. 事業の目的体系

1 事業名	学校体育施設開放事業	コード	01	10	05	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える 施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	スポーツをする人
2 働きかける相手(対象)	体育施設利用者
3 どのような状態に したいのか(意図)	地域に身近な学校体育施設を利用して、地域住民のスポーツ活動の充実が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	学校体育施設開放事業 地域住民に身近なスポーツの場としての学校体育施設を開放しました。 (1) 学校体育施設開放 ア 運動場 小学校計 859件 (28,676人) 中学校計 205件 (10,415人) (うちナイター(東中) 161件 7,595人) 東郷高校 3件 (90人) イ 体育館 小学校計 1,321件 (26,100人) 中学校計 840件 (12,844人) ウ 武道場 中学校計 372件 (9,490人) (2) プール開放(8月1日から8月31日まで) 兵庫小学校 2,054人 (3) 利用調整会(年4回) 6月・9月・12月・3月 (4) 利用責任者資格取得講習会(年4回) 6月・9月・12月・3月
-------------------------	--

5 活動指標	指 標 名	学校体育施設開放箇所数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	か所 10.00	か所	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	か所 10.00	か所	
			平成 27 年度	か所 10.00	か所	
			平成 28 年度	か所 10.00	か所	
6 成果指標	指 標 名	各施設の利用人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 89,676.00	人 87,803.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	人 83,352.00	人 89,676.00	
			平成 27 年度	人 85,930.00	人 83,352.00	
			平成 28 年度	人 89,669.00	人 85,930.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	6,112,745 円	決 算 額		6,648,047 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	スポーツ事業開催事業	コード	01	10	05	02	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	参加する人、スポーツをしたいと思っている人
2 働きかける相手(対象)	町民、参加する人
3 どのような状態に したいのか(意図)	レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 レクスポ大会事業 レクリエーションスポーツの普及を図るために、第25回レクスポ大会（種目：夢ボール）を開催しました。 (1) 開催日 平成29年2月26日（日） (2) 場所 総合体育館 (3) 参加チーム数 8チーム（43人） 2 町民ハイキング事業 日常では体験することのできない自然とのふれあいを通じて豊かな人間性を育てるとともに、自然を満喫しながら運動をすることで、心身の健康保持・増進を図るため、町民ハイキングを実施しました。 (1) 開催日 平成28年10月30日（日） (2) 場所 福井県敦賀市（距離約8km） (3) 参加者 124人（大型バス3台）

5 活動指標	指 標 名	スポーツ事業開催数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	回 2.00	回	
			平成 27 年度	回 2.00	回	
			平成 28 年度	回 2.00	回	
6 成果指標	指 標 名	延べ参加者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 162.00	人 186.00	前年度実績
	指標の説明 (指 標 式)	各種事業に参加した人数の合計	平成 26 年度	人 173.00	人 162.00	
			平成 27 年度	人 184.00	人 173.00	
			平成 28 年度	人 167.00	人 184.00	
7 直接事業費計	前年度決算額		480,605 円	決 算 額		475,980 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	各種スポーツ教室開催事業	コード	01	10	05	02	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		教室参加者				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		幼児から高齢者及び初心者から上級者までの各レベルにあった指導により、町民の体力の保持・増進とスポーツの普及・振興が図られるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		各種スポーツ教室開催事業 (1) ボート教室(春・ナックルフォア) 3 回開催(6月12日・19日・26日) 参加申込み人数 16人(内子供4人) 延べ参加人数 42人 (2) ボート教室(夏・ナックルフォア) 3 回開催(8月20日・27日、9月3日) 参加申込み人数 5人 延べ参加人数 11人				
5 活動指標	指標名	スポーツ教室種目数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	教室 2.00	教室	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	ナックルフォア教室(平成26年度までは、ナックルフォア教室とシングルスカル教室 各1回)	平成 26 年度	教室 2.00	教室	
			平成 27 年度	教室 2.00	教室	
			平成 28 年度	教室 2.00	教室	
6 成果指標	指標名	スポーツ教室参加人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 37.00	人 50.00	過去3年の平均値
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 34.00	人 49.00	
			平成 27 年度	人 10.00	人 42.00	
			平成 28 年度	人 21.00	人 27.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	60,780 円	決 算 額		78,570 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	レガッタ振興事業	コード	01	10	05	02	06	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える 施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		レガッタに参加した人、町民				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		町民レガッタ開催事業 (1) 開催種目 (ナックルフォア500m) ガッツマン、ジェントルマン、グランドシニア男子、レディー、マダム、グランドシニア女子、ミックス、中学生、高校生、地区別体験レース、3市1町スポーツ推進委員の部 (2) 開催日 平成28年8月7日(日) (3) 場所 愛知池漕艇場 (4) 参加クルー数 149クルー (885人) (5) 来場者数 約2,500人 (6) その他 ア 大会プログラムを1,200部作成しました。 イ 大会ポスター120部作成し、町内公共施設等に掲示しました。 ウ 会場テント、仮設トイレ設営等を委託しました。				
5 活動指標	指標名	町民レガッタ参加クルー数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	クルー 135.00	クルー	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	クルー 134.00	クルー	
			平成 27 年度	クルー 157.00	クルー	
			平成 28 年度	クルー 149.00	クルー	
6 成果指標	指標名	町民レガッタ参加人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 872.00	人 906.00	前年度実績
	指標の説明 (指標式)		平成 26 年度	人 847.00	人 872.00	
			平成 27 年度	人 956.00	人 847.00	
			平成 28 年度	人 885.00	人 956.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	4,031,327 円	決 算 額		7,212,419 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	スポーツ交流事業	コード	01	10	05	02	07	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		スポーツ・レクリエーションスポーツ等に参加する人				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		1 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル事業 (1) 東尾張地区大会 町内から6種目(グラウンドゴルフ1チーム、ソフトバレーボール2チーム、年齢別テニス1チーム、年齢別バドミントン1チーム、弓道5チーム、軟式野球1チーム)の代表11チームを東尾張地区大会に派遣しました。 (2) 県大会 東尾張地区大会で、優勝した1チーム(軟式野球)が県大会に出場しました。 2 愛知県市町村対抗駅伝事業 愛知県内各市町村の交流、スポーツに対する県民意識の高揚を図るために、平成28年12月3日(土)愛知県内の全市町村54チーム(うち町村16チーム)が参加しました。 本町からも20名の選手及び監督が参加し、町村の部において3位になりました。				
5 活動指標	指標名	愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル東尾張地区への参加種目数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明(指標式)	町が参加した種目数	平成 25 年度	種目 7.00	種目	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	種目 5.00	種目	
			平成 27 年度	種目 6.00	種目	
			平成 28 年度	種目 6.00	種目	
6 成果指標	指標名	愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル東尾張地区への参加チーム数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明(指標式)		平成 25 年度	チーム 10.00	チーム 11.00	前年度実績
			平成 26 年度	チーム 7.00	チーム 10.00	
			平成 27 年度	チーム 8.00	チーム 7.00	
			平成 28 年度	チーム 11.00	チーム 8.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	137,233 円	決 算 額		452,353 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	35,105,000 円
項	5	保健体育費	決 算 額	34,847,707 円
目	3	体育施設費	前 年 度 決 算 額	33,356,591 円
			対 前 年 比	104.5 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	体育施設管理事業	コード	01	10	05	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	施設を利用する人
2 働きかける相手(対象)	施設を利用する人及び町内体育施設
3 どのような状態に したいのか(意図)	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 体育施設一般管理事業 町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。 (1) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで (2) 愛知池運動公園の整地作業用グラウンドマット等を修繕しました。 (3) 愛知池運動公園駐車場用地(7,039㎡)、町民運動広場用地(16,705㎡)及び境川緑地公園用地(982㎡)の借地料を支払いました。 (4) 施設の利用状況 <table border="1"> <tr> <td>ア 町民運動広場</td><td>531件(利用者数 9,970人)</td></tr> <tr> <td>イ 愛知池運動公園運動場</td><td>504件(利用者数 13,050人)</td></tr> <tr> <td>ウ 愛知池運動公園野球場</td><td>638件(利用者数 8,956人)</td></tr> <tr> <td>エ 愛知池運動公園テニスコート</td><td>1,581件(利用者数 7,423人)</td></tr> <tr> <td>オ 愛知池運動公園(キャンプ利用)</td><td>49件(利用者数 2,543人)</td></tr> <tr> <td>カ 境川緑地公園第1多目的広場</td><td>362件(利用者数 2,815人)</td></tr> <tr> <td>キ 境川緑地公園第2多目的広場</td><td>69件(利用者数 779人)</td></tr> <tr> <td>ク ふれあい広場ゲートボール場</td><td>95件(利用者数 2,367人)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>3,829件(利用者数 47,903人)</td></tr> </table> (内ナイター 43件 2,060人) 2 愛知池漕艇場維持管理事業 (1) 公益社団法人日本ボート協会の公認ボートコース(B級1,000m)としての認定を受けました。 (2) ボートハウス及び総合監視所の光熱水費の支払い及び施設設備の保守業務を委託しました。 (3) ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員2名を雇用しました。 (4) 施設の利用状況 ボート・施設利用 96件、大会開催数 13回 3 ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業 ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。	ア 町民運動広場	531件(利用者数 9,970人)	イ 愛知池運動公園運動場	504件(利用者数 13,050人)	ウ 愛知池運動公園野球場	638件(利用者数 8,956人)	エ 愛知池運動公園テニスコート	1,581件(利用者数 7,423人)	オ 愛知池運動公園(キャンプ利用)	49件(利用者数 2,543人)	カ 境川緑地公園第1多目的広場	362件(利用者数 2,815人)	キ 境川緑地公園第2多目的広場	69件(利用者数 779人)	ク ふれあい広場ゲートボール場	95件(利用者数 2,367人)	合計	3,829件(利用者数 47,903人)
ア 町民運動広場	531件(利用者数 9,970人)																		
イ 愛知池運動公園運動場	504件(利用者数 13,050人)																		
ウ 愛知池運動公園野球場	638件(利用者数 8,956人)																		
エ 愛知池運動公園テニスコート	1,581件(利用者数 7,423人)																		
オ 愛知池運動公園(キャンプ利用)	49件(利用者数 2,543人)																		
カ 境川緑地公園第1多目的広場	362件(利用者数 2,815人)																		
キ 境川緑地公園第2多目的広場	69件(利用者数 779人)																		
ク ふれあい広場ゲートボール場	95件(利用者数 2,367人)																		
合計	3,829件(利用者数 47,903人)																		

5 活動指標	指 標 名	指定管理者制度の導入施設数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	件 5.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場	平成 26 年度	件 5.00	件	
			平成 27 年度	件 5.00	件	
			平成 28 年度	件 5.00	件	
6 成果指標	指 標 名	町体育施設の利用延べ人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 95,865.00	人 97,486.00	前年度実績
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	各施設の年間の利用人数の合計	平成 26 年度	人 62,912.00	人 95,865.00	
			平成 27 年度	人 46,186.00	人 62,912.00	
			平成 28 年度	人 47,903.00	人 46,186.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	31,076,591 円	決 算 額		32,567,707 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	地区設置運動広場運営事業	コード	01	10	05	03	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える							
	施策の展開方向：(1) 生涯スポーツの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	スポーツをする人				
2	働きかける相手(対象)	自治会、運動広場				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地区が設置している運動広場を利用する人が、安全・快適に利用できるようにします。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地区設置運動広場運営事業 和合地区、祐福寺地区、諸輪住宅地区、部田地区が設置している運動広場の運営事業に補助しました。				
5	指 標 名	補助地区数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	地区 4.00	地区	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	平成 26 年度	地区 4.00	地区		
		平成 27 年度	地区 4.00	地区		
		平成 28 年度	地区 4.00	地区		
6	指 標 名	地区の運動場設置数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	地区 4.00	地区 4.00	当初補助予定地区数
	指標の説明 (指 標 式)	平成 26 年度	地区 4.00	地区 4.00		
		平成 27 年度	地区 4.00	地区 4.00		
		平成 28 年度	地区 4.00	地区 4.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	2,280,000 円	決 算 額	2,280,000 円	

款	10	教育費	予 算 現 額	45,356,000 円
項	5	保健体育費	決 算 額	43,668,177 円
目	4	総合体育館費	前 年 度 決 算 額	47,231,595 円
			対 前 年 比	92.5 %

I. 事業の目的体系

1 事 業 名	総合体育館管理事業	コード	01	10	05	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 基本施策：4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える 施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		総合体育館を利用する人				
2 働きかける相手(対象)		総合体育館を利用する人				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	総合体育館管理事業 総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。 (1) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで (2) 総合体育館の壁面ボード、上水加圧給水ポンプ等を修繕しました。 (3) 総合体育館駐車場用地 (1,389㎡) の借地料を支払いました。 (4) 体育館利用状況 ア 開館日数 307日 イ アリーナ 2,987件 利用者数 48,909人 ウ 多目的室 1,098件 利用者数 23,056人 エ 武道場 1,154件 利用者数 24,287人 オ 弓道場 4,173件 利用者数 5,061人 カ スタジオ 3,586件 利用者数 7,011人 キ 会議室 539件 利用者数 4,104人 合 計 112,428人					
5 活動指標	指標名	アリーナ利用件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	件 2,857.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	平成 26 年度	件 2,647.00	件		
		平成 27 年度	件 2,945.00	件		
		平成 28 年度	件 2,987.00	件		
6 成果指標	指標名	総利用人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	人 137,073.00	人 122,696.00	前年度実績
	指標の説明 (指標式)	平成 26 年度	人 113,548.00	人 137,073.00		
		平成 27 年度	人 121,557.00	人 113,548.00		
		平成 28 年度	人 112,428.00	人 121,557.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	47,231,595 円	決 算 額	43,668,177 円		

款	10	教育費	予 算 現 額	427,144,000 円
項	5	保健体育費	決 算 額	416,790,002 円
目	5	給食センター費	前 年 度 決 算 額	415,779,954 円
			対 前 年 比	100.2 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	給食センター管理運営事業	コード	01	10	05	05	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち 基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する 施策の展開方向：(5) 食育の推進							

Ⅱ. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	保育園児、小中学生
2 働きかける相手(対象)	給食センター施設・設備、調理関係者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	給食センター施設・設備等の適正な維持管理を行い、常に安定稼働させるとともに、衛生的で安全な給食を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	給食センター管理運営事業 (1) 魅力あるおいしい給食づくり。 ア 献立委員会や物資選定委員会により出された、意見やこれまでの反省等を元に季節感や旬の食材を大切に給食を提供しました。 イ 運営委員会を開催しセンターの運営について審議しました。 (7) 開催日 平成28年6月10日(金) (4) 主な内容 平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、学校保育園栄養士による栄養指導計画給食用物資納入業者の登録について (7) 運営委員 教育部長、福祉部長、各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表 計22名 (2) 食に関する指導を推進しました。 栄養教諭による全小中学生に食に関する指導を行いました。 小学校低学年には、食べる姿勢や箸の使い方等を、小学校高学年や中学生には栄養素や食習慣等についてを指導しました。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進しました。 ア 食育だより「いただきます」を保護者の各家庭に配布し望ましい食生活を啓発しました。また、読者を増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。 イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。 (4) 応募献立 児童生徒に給食への関心を持たせることにより、食育の推進を図ることを目的とし、テーマをもとに献立を募集しました。受賞献立は、給食として実施しました。 ア テーマ「野菜たっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立(小学生7献立、中学生4献立) (5) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努めました。 センター内の職員全員(委託業者含む)の検便検査(サルモネラ、赤痢、O-157、冬季はノロウイルス)を月2回実施しました。 (6) 老朽施設・設備等の改修を計画的に実施しました。 ア 厨房機器及び排水処理場等の保守点検を実施し、健全な施設の維持管理に努めました。 イ 調理場内の床面塗装工事を実施し、劣化部分の補修に加え、調理場内の色分けをし食材の汚染区域、非汚染区域の分けを明確にしました。また、塗料に滑り止めの砂を入れ調理員の労働環境の改善を図りました。
-------------------------	--

5	指 標 名	給食センターでの年間調理食数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	平成 25 年度		食 1,171,034.00	食	個別計画による目標値はありません。	
	平成 26 年度		食 1,161,862.00	食		
	平成 27 年度		食 1,143,925.00	食		
	平成 28 年度		食 1,107,406.00	食		
6	指 標 名	給食安定提供率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指 標 式)	(年間給食実施回数－配送遅延回数)／年間給食実施回数	平成 25 年度	% 100.00	% 100.00	設備の適切な維持管理を行うことで、常に確実に安全な給食を提供しなければならないため、目標値は１００％としました。
			平成 26 年度	% 100.00	% 100.00	
			平成 27 年度	% 100.00	% 100.00	
			平成 28 年度	% 100.00	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	201,027,803 円	決 算 額	198,791,422 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	小学校給食事業	コード	01	10	05	05	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(5) 食育の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	小学生、保護者
2 働きかける相手(対象)	児童、教員、PTA、食材
3 どのような状態に したいのか(意図)	児童生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食を提供する。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校給食事業

(1) 提供食数 579,573食

(2) 献立作成の重点

ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。(呉汁、ししゃもフライ等)

イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。(7月夏野菜カレー、10月栗入り五目ご飯)

ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。

(9月実施(お月見)月見汁、2月実施(節分)いわし蒲焼き)

エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さをアピールしました。(れんこんサラダ、ししゃもフライ等)

(3) 地場産物の使用状況

地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。

また、地産地消推進事業として東郷町産食材5品目について公費による給食を提供しました。

食材名	使用月	使用した献立名
米、もち米、赤米(※)	4、3月	古代米赤飯
トマト	6月	オニオンスープ
ローゼル(※)	6月	東郷町産ローゼルジャム
トマト(※)	7月	東郷町産トマト
かぼちゃ(※)	10月	東郷町産かぼちゃコロケ
大根	12～2月	のっぺい汁他
柿(※)	11月	東郷町産柿
枝豆	1～2月	豚汁、麻婆豆腐他
白菜	1月	東郷町産冬野菜のみそ汁

(※)は地産地消推進事業対象

(4) 残菜量(かつこ内は前年度分)

給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。

食缶(主に汁物)3,121kg(3,344kg)、パット(主に主菜)895kg(1,020kg)、パット(主に副菜)

1,854kg(2,205kg) 合計5,870kg(6,569kg) (10.1g/食(11.4g/食))

5 活動指標	指 標 名	小学校用給食の年間総給食数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	食 586,115.00	食	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 （指 標 式）	6 小学校、ハートフル東郷の児童・教員及び給食センターの総給食数（保存食は含めない）	平成 26 年度	食 571,404.00	食	
			平成 27 年度	食 576,303.00	食	
			平成 28 年度	食 579,573.00	食	
6 成果指標			指 標 名	小学校給食満足度（給食が嫌いではない児童の割合）	年 度	実 績 値
		平成 25 年度	% 97.00	% 98.00		
指標の説明 （指 標 式）	給食に関するアンケートにおけるアンケート項目「学校給食は好きですか？」の集計結果	平成 26 年度	% 98.00	% 98.00		
		平成 27 年度	% 97.00	% 98.00		
		平成 28 年度	% 98.00	% 98.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	132,664,374 円	決 算 額		134,846,367 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	中学校給食事業	コード	01	10	05	05	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(5) 食育の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	中学生、保護者
2 働きかける相手(対象)	生徒、教員、PTA、食材
3 どのような状態に したいのか(意図)	児童生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食を提供する。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校給食事業

(1) 提供食数 262,900食

(2) 献立作成の重点

ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。(呉汁、ししゃもフライ等)

イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。(7月夏野菜カレー、10月栗入り五目ご飯)

ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。

(9月実施(お月見)月見汁、2月実施(節分)いわし蒲焼き)

エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さをアピールしました。(れんこんサラダ、ししゃもフライ等)

(3) 地場産物の使用状況

地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。

また、地産地消推進事業として東郷町産食材5品目について公費による給食を提供しました。

食材名	使用月	使用した献立名
米、もち米、赤米(※)	4、3月	古代米赤飯
大豆	6月	オニオンスープ
ローゼル(※)	6月	東郷町産ローゼルジャム
トマト(※)	7月	東郷町産トマト
かぼちゃ(※)	10月	東郷町産かぼちゃコロッケ
大根	12～2月	のっぺい汁他
柿(※)	11月	東郷町産柿
大豆	1～2月	豚汁、麻婆豆腐他
白菜	1月	東郷町産冬野菜のみそ汁

(※)は地産地消推進事業対象

(4) 残菜量(かつこ内は前年度分)

給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。

食缶(主に汁物)1,720kg(1,623kg)、パット(主に主菜)513kg(556kg)、パット(主に副菜)

1,454kg(1,727kg) 合計3,687kg(3,906kg) (14.0g/食(14.7g/食))

5 活動指標	指 標 名	中学校用給食の年間総給食数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	食 272,580.00	食	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	3 中学校の生徒・教員等の総給食数（保存食は含めない）	平成 26 年度	食 276,184.00	食	
			平成 27 年度	食 265,937.00	食	
			平成 28 年度	食 262,900.00	食	
6 成果指標	指 標 名	中学校給食満足度（給食が嫌いではない生徒の割合）	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	% 98.00	% 98.00	過去 3 年間の最高値
	指標の説明 (指 標 式)	給食に関するアンケートにおけるアンケート項目「学校給食は好きですか？」の集計結果	平成 26 年度	% 98.00	% 98.00	
			平成 27 年度	% 97.00	% 98.00	
			平成 28 年度	% 95.00	% 98.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	69,194,503 円	決 算 額		69,950,250 円	

款	11	災害復旧費	予 算 現 額	887,000 円
項	1	土木施設災害復旧費	決 算 額	0 円
目	1	道路河川災害復旧費	前 年 度 決 算 額	0 円
			対 前 年 比	- %

I. 事業の目的体系

1 事 業 名	災害復旧事業	コード	01	11	01	01	01	-
2 総 合 計 画 の 系 施 策 体 系	基 本 目 標 : 目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基 本 施 策 : 3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向: -							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	被災した施設を利用する人
2 働きかける相手(対象)	被災を受けた施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	台風、大雨等により被災した施設を復旧し、早期かつ安全に利用できる状態にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	災害復旧事業 平成28年度の実績はありません。				
-------------------------	----------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	事前対策準備及び応急処置の延べ委託回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	回 0.00	回	
			平成 27 年度	回 0.00	回	
			平成 28 年度	回 0.00	回	
6 成果指標	指 標 名	災害復旧率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 25 年度	% 0.00	% 100.00	完全復旧率
			平成 26 年度	% 0.00	% 100.00	
			平成 27 年度	% 0.00	% 100.00	
			平成 28 年度	% 0.00	% 100.00	
	指標の説明(指標式)	(災害復旧箇所/災害発生箇所) × 100 (年度内早期復旧を目標、前年度発生箇所の復旧箇所数は含めない。)				
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	0 円		

款	12	公債費	予 算 現 額	723,778,000 円
項	1	公債費	決 算 額	723,776,300 円
目	1	元金	前 年 度 決 算 額	673,173,904 円
			対 前 年 比	107.5 %

I. 事業の目的体系

1. 事 業 名	建設事業分公債費元金事業	コード	01	12	01	01	01	-
2. 総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標 : 目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基 本 施 策 : 6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向: -							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	公債費元金
3 どのような状態にしたいのか(意図)	借り入れた建設事業分公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建設事業分公債費元金事業 (1) 地方債(建設事業分元金)を324,758,133円償還しました。 (2) 平成28年度末現在高 ア 平成27年度末現在高 2,676,050,219円 イ 元金償還額 324,758,133円 ウ 平成28年度借入額 146,000,000円 エ 平成28年度末現在高 2,497,292,086円	
-------------------------	--	--

5 活動指標	指 標 名	地方債償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 25 年度	円 328,613,376.00	円	個別計画による目標値 はありません。	
	指標の説明 (指 標 式)	当該年度に償還した地方債元金 の額	平成 26 年度	円 308,071,428.00	円		
			平成 27 年度	円 311,895,474.00	円		
			平成 28 年度	円 324,758,133.00	円		
6 直接事業費計		前年度決算額		311,895,474 円	決 算 額		324,758,133 円

I. 事業の目的体系

1. 事業名	その他公債費元金事業	コード	01	12	01	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)		町民	
2 働きかける相手(対象)		公債費元金	
3 どのような状態にしたいのか(意図)		借り入れた減税補填債、臨時税收補填債及び臨時財政対策債に係る公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。	
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	その他(減税補填等)公債費元金事業		
	(1) 地方債(減税補填等元金)を399,018,167円償還しました。		
	ア	減税補填債(注1)	47,221,114円
	イ	臨時税收補填債(注2)	11,102,921円
	ウ	臨時財政対策債(注3)	340,694,132円
	(2) 平成28年度末現在高		
	ア	平成27年度末現在高	6,083,289,792円
	イ	元金償還額	399,018,167円
	ウ	平成28年度借入額	428,000,000円
	エ	平成28年度末現在高	6,112,271,625円
注1 減税補填債 国の施策による住民税の減税措置による地方公共団体の減収額を埋めるために、地方財政法第5条の特例として発行された地方債			
注2 臨時税收補填債 地方税法の改正により創設された地方消費税の収入が、導入初年度の平成9年度において通年分が収入できないことに伴う影響額を補填するために発行が認められた地方債			
注3 臨時財政対策債 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行された地方債 平成13年度以降、地方交付税制度において通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計からの加算(臨時財政対策分)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされました。実際の借入の有無にかかわらず、その元利償還金相当額は後年度基準財政需要額に全額算入されます。			

5 活動指標	指標名	地方債償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 366,176,570.00	円	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債元金の額	平成 26 年度	円 361,334,436.00	円	
			平成 27 年度	円 361,278,430.00	円	
			平成 28 年度	円 399,018,167.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	361,278,430 円	決 算 額	399,018,167 円
----------	--------	---------------	-------	---------------

款	12	公債費	予 算 現 額	74,382,000 円
項	1	公債費	決 算 額	74,259,796 円
目	2	利子	前 年 度 決 算 額	84,682,126 円
			対 前 年 比	87.7 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	建設事業分公債費利子事業	コード	01	12	01	02	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	公債費利子
3 どのような状態に したいのか(意図)	借り入れた建設事業分公債費元金に伴う利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建設事業分公債費利子事業 地方債利子(建設事業分)を26,163,859円償還しました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	地方債利子償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 33,733,775.00	円	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	当該年度に償還した地方債利子の 額	平成 26 年度	円 30,370,674.00	円	
			平成 27 年度	円 29,123,997.00	円	
			平成 28 年度	円 26,163,859.00	円	
6 直接事業費計		前年度決算額	29,123,997 円	決 算 額	26,163,859 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	その他公債費利子事業	コード	01	12	01	02	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)		町民			
2 働きかける相手(対象)		公債費利子			
3 どのような状態にしたいのか(意図)		借り入れた減税補填債、臨時税収補填債及び臨時財政対策債の元金に係る公債費利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	その他(減税補填等)公債費利子事業 地方債利子(減税補填債等分)を48,095,937円償還しました。 (1) 減税補填債 2,669,304円 (2) 臨時税収補填債 321,781円 (3) 臨時財政対策債 45,104,852円				
5 活動指標	指標名	地方債利子償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成 25 年度	円 64,824,177.00	円 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債利子の額	平成 26 年度	円 59,073,819.00	円
			平成 27 年度	円 55,558,129.00	円
			平成 28 年度	円 48,095,937.00	円
6 直接事業費計	前年度決算額	55,558,129 円	決 算 額	48,095,937 円	

款	12	公債費	予 算 現 額	222,000 円
項	1	公債費	決 算 額	0 円
目	3	一時借入金利子	前 年 度 決 算 額	0 円
			対 前 年 比	- %

I. 事業の目的体系

1. 事 業 名	一時借入金利子事業	コード	01	12	01	03	01	-
2. 総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標 : 目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基 本 施 策 : 6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向: -							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	一時借入金利子
3 どのような状態にしたいのか(意図)	歳計現金が不足した場合、一時借入金により効率的な借入れを行い、支払資金の確保を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	一時借入金利子事業 歳入・歳出の予定金額、時期等を把握し、資金繰りに努めた結果、今年度は一時借入れすることなく支払資金を確保することができました。
-------------------------	---

5 活動指標	指 標 名	利子金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 0.00	円	
			平成 26 年度	円 0.00	円	
	指標の説明 (指標式)		平成 27 年度	円 0.00	円	
			平成 28 年度	円 0.00	円	
6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	0 円		

款	13	諸支出金	予 算 現 額	2,536,000 円
項	1	基金費	決 算 額	2,535,504 円
目	1	財政調整基金費	前 年 度 決 算 額	2,100,337 円
			対 前 年 比	120.7 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	財政調整基金積立金事業	コード	01	13	01	01	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	財政調整基金
3 どのような状態に したいのか(意図)	安定的な一般財源を確保するため年度間調整が可能な基金残高まで積み増します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	財政調整基金利子積立金事業	
	(1) 財政調整基金利子を2,535,504円積み立てました。	
	(2) 基金残高	
	ア 平成27年度末残高	1,295,682,530円
	イ 平成28年度中増減	
	(7) 決算積立	289,492,681円
	(イ) 利子積立	2,535,504円
	(ウ) 取崩し	409,437,000円
	ウ 平成28年度末残高	1,178,273,715円

5 活動指標	指 標 名	財政調整基金残高	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	千円 1,017,574.00	千円	基金積立方針（平成28年3月策定）における 目標値 H28 1,100,000千円
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	年度末基金残高	平成 26 年度	千円 1,125,113.00	千円	
			平成 27 年度	千円 1,295,682.00	千円	
			平成 28 年度	千円 1,178,274.00	千円 1,100,000.00	
6 直接事業費計	前年度決算額	2,100,337 円	決 算 額		2,535,504 円	

款	13	諸支出金	予 算 現 額	354,000 円
項	1	基金費	決 算 額	353,697 円
目	2	減債基金費	前 年 度 決 算 額	165,295 円
			対 前 年 比	214 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	減債基金積立金事業	コード	01	13	01	02	01	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち 基本施策：6 財政の健全化を進める 施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	減債基金
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町債の償還に必要な財源を計画的に確保するため、必要な額を積み増します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	減債基金利子積立金事業 (1) 決算剰余金のうち80,000,000円を積み立てました。 (2) 基金残高 ア 平成27年度末残高 150,256,514円 イ 平成28年度中増減 (7) 決算積立 80,000,000円 (4) 利子積立 353,697円 (ウ) 取崩し 0円 ウ 平成28年度末残高 230,610,211円	
-------------------------	---	--

5 活動指標	指 標 名	減債基金残高	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	千円 91.00	千円	基金積立方針（平成28年3月策定）における目標値 H28 230,000千円
	指標の説明 （指 標 式）	年度末基金残高	平成 26 年度	千円 100,091.00	千円	
			平成 27 年度	千円 150,257.00	千円	
			平成 28 年度	千円 230,610.00	千円 230,000.00	
6 直接事業費計		前年度決算額	165,295 円	決 算 額	353,697 円	

款	13	諸支出金	予 算 現 額	1,044,000 円
項	1	基金費	決 算 額	1,043,386 円
目	3	公共施設整備基金費	前 年 度 決 算 額	93,157,505 円
			対 前 年 比	1.1 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	公共施設整備基金積立金事業	コード	01	13	01	03	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)		町民			
2 働きかける相手(対象)		公共施設整備基金			
3 どのような状態にしたいのか(意図)		公共施設を整備するための財源を確保します。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 公共施設整備基金利子積立金事業 公共施設整備基金利子を703,818円積み立てました。				
	2 公共施設整備基金予算積立金事業 公共施設整備基金に339,568円を積み立てました。				
	基金残高				
	ア 平成27年度末残高 339,756,815円				
	イ 平成28年度中増減				
	(7) 利子積立 703,818円				
	(4) 予算積立 339,568円				
	(ウ) 取崩し 15,500,000円				
	ウ 平成28年度末残高 325,300,201円				
5 活動指標	指標名	公共施設整備基金残高	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成 25 年度	千円 404,077.00	千円
	指標の説明 (指標式)	年度末基金残高	平成 26 年度	千円 385,037.00	千円
			平成 27 年度	千円 339,757.00	千円
			平成 28 年度	千円 325,300.00	千円 330,000.00
6 直接事業費計		前年度決算額	93,157,505 円	決 算 額	1,043,386 円

款	13	諸支出金	予 算 現 額	75,000 円
項	1	基金費	決 算 額	74,178 円
目	4	土地開発基金費	前 年 度 決 算 額	80,437 円
			対 前 年 比	92.2 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	土地開発基金積立金事業	コード	01	13	01	04	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅲ 参画と協働で自立するまち							
	基本施策：6 財政の健全化を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	土地開発基金
3 どのような状態に したいのか(意図)	公用若しくは公共の用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地開発基金利子積立金事業 (1) 土地開発基金利子を74,178円積み立てました。 (2) 基金残高 ア 平成27年度末残高 (7) 現金 101,132,135円 (4) 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡) イ 平成28年度利子積立て 74,178円 ウ 平成28年度末残高 (7) 現金 101,206,313円 (4) 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡)			
-------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	土地開発基金残高	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 100,952.00	円	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	年度末基金(現金)残高	平成 26 年度	円 101,052.00	円	
			平成 27 年度	円 101,132.00	円	
			平成 28 年度	円 101,206.00	円	
6 直接事業費計		前年度決算額	80,437 円	決 算 額	74,178 円	

款	13	諸支出金	予 算 現 額	15,000 円
項	1	基金費	決 算 額	15,000 円
目	5	地域福祉基金費	前 年 度 決 算 額	35,898 円
			対 前 年 比	41.8 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	地域福祉基金積立金事業	コード	01	13	01	05	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	地域福祉基金
3 どのような状態に したいのか(意図)	地域福祉の推進に必要な財源を確保するため、東郷町地域福祉基金の設置及び管理に関する条例に基づき予算で定める額を積み立てます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地域福祉基金積立事業 (1) 地域福祉基金利子積立金 15,000円 (2) 基金残高 ア 平成27年度末残高 10,147,937円 イ 平成28年度取崩し 0円 ウ 平成28年度利子積立 15,000円 エ 平成28年度末残高 10,162,937円			
-------------------------	---	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	利子積立額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 24,018.00	円	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 26 年度	円 36,800.00	円	
			平成 27 年度	円 35,898.00	円	
			平成 28 年度	円 15,000.00	円	
6 直接事業費計		前年度決算額	35,898 円	決 算 額		15,000 円

款	13	諸支出金	予 算 現 額	1,000 円
項	1	基金費	決 算 額	750 円
目	6	図書館整備基金費	前 年 度 決 算 額	3,760 円
			対 前 年 比	19.9 %

I. 事業の目的体系

1. 事 業 名	図書館整備基金積立金事業	コード	01	13	01	06	01	-
2. 総 合 計 画 の 系 施 策 体	基 本 目 標 : 目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基 本 施 策 : 2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向: (4) こころの豊かさを育てる機会の充実							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	図書館を利用する人
2 働きかける相手(対象)	図書館整備基金
3 どのような状態にしたいのか(意図)	図書館を利用する人が情報収集や調査研究などで図書館を快適に利用できるよう、図書資料等の購入に充てるための基金を積み立てておきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	図書館整備基金利子積立金事業 東郷町立図書館整備基金の設置及び管理に関する条例に基づき図書館整備基金利子を750円積立てました。 基金残高 (1) 平成27年度末残高 3,064,630円 (2) 平成28年度利子積立 750円 (3) 平成28年度末残高 3,065,380円				

5 活動指標	指 標 名	利子積立額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 25 年度	円 2,271.00	円	個別計画による目標値はありません。
			平成 26 年度	円 3,750.00	円	
	指標の説明 (指 標 式)		平成 27 年度	円 3,760.00	円	
			平成 28 年度	円 750.00	円	
6 直接事業費計		前年度決算額	3,760 円	決 算 額		750 円